平成２９年度
（２０１７年）

農作物有害動植物発生予察事業年報

島根県農業技術センター
島 根 県 病 害 虫 防 除 所

目　　次

Ⅰ.事業の目的…… 1
Ⅱ.事業の実施の方針と概要…… 1
Ⅲ.事業対象有害動植物の種類…… 1
Ⅳ.事業実施組織と本年度の実施方法…… 2
1.病害虫防除所における予察事業担当者…… 2
2.病害虫防除員…… 2
3.予察圃場設置一覧…… 2
4.予察灯・フェロモントラップの設置一覧…… 2
Ⅴ.事業内容…… 3
1.平成29年度における調査観察成績…… 3
Ⅰ） 普通作物等…… 3
（Ⅰ）イネ…… 3
1．イネの生育状況…… 3
2．病害虫に関する調査結果…… 3
1）稲こうじ病…… 3
2）葉いもち…… 4
3）穂いもち…… 5
4）縞葉枯病…… 5
5）ばか苗病…… 5
6）もみ枯細菌病…… 5
7）紋枯病…… 6
8）イネミズゾウムシ…… 7
9）コブノメイガ…… 7
10）セジロウンカ…… 9
11）ツマグロヨコバイ…… 10
12）トビイロウンカ…… 11
13）ニカメイガ…… 12
14）斑点米カメムシ類…… 14
15）ヒメトビウンカ…… 14
16）フタオビコヤガ…… 15
（Ⅱ）ムギ…… 16
1．ムギの生育状況…… 16
2．病害虫に関する調査結果…… 16
1）さび病類、うどんこ病、斑葉病、雲形病、赤かび病…… 16
（Ⅲ）ダイズ…… 17
1．病害虫に関する調査結果…… 17
1）アブラムシ類…… 17
2）吸実性カメムシ類…… 18
3）ハスモンヨトウ…… 18

Ⅱ）果樹…… 19
（Ⅰ）ナシ…… 19
１．病害虫に関する調査結果…… 19
１）黒斑病、黒星病…… 19
２）ナシヒメシンクイ…… 21
３）ナシオオシンクイガ…… 22
４）モモシンクイガ…… 22
５）チャノコカクモンハマキ…… 23
６）チャハマキ…… 23
７）ハダニ類、カイガラムシ類…… 24
８）アブラムシ類…… 24
（Ⅱ）カキ…… 25
１．病害虫に関する調査結果…… 25
１）炭疽病…… 25
２）うどんこ病、円星落葉病、角斑落葉病、灰色かび病、果実黒すじ病… 25
３）カキミガ…… 28
４）カメムシ類・・・・・…… 28
５）チャノコカクモンハマキ…… 29
６）チャハマキ…… 29
７）カキクダアザミウマ…… 29
８）フジコナカイガラムシ…… 29
（Ⅲ）クリ…… 30
１．病害虫に関する調査結果…… 30
１）モモノゴマダラノメイガ…… 30
２）クスサン…… 31
Ⅲ）野菜…… 32
（Ⅰ）キャベツ…… 32
１．病害虫に関する調査結果…… 32
１）黒腐病…… 32
２）菌核病、軟腐病、根こぶ病、株腐病…… 32
３）モンシロチョウ…… 32
４）コナガ…… 32
５）ヨトウガ…… 33
６）ウワバ類…… 33
７）アブラムシ類…… 33
８）ハスモンヨトウ…… 33
９）シロイチモジヨトウ…… 34
10）オオタバコガ…… 35
11）キスジノミハムシ…… 35
（Ⅱ）タマネギ…… 35
１．病害虫に関する調査結果…… 35
１）べと病…… 35
２）白色疫病、ボトリチス属菌による葉枯症、腐敗病・軟腐病、さび病… 36

（Ⅲ）イチゴ…… 36
１．病害虫に関する調査結果…… 36
１）灰色かび病…… 36
２）うどんこ病…… 36
３）炭疽病…… 36
４）アブラムシ類…… 37
５）ハダニ類…… 37
６）アザミウマ類…… 37
７）コナジラミ類…… 38
Ⅳ）花弁…… 38
（Ⅰ）キク…… 38
１）白さび病…… 38
２）アザミウマ類…… 38
３）アブラムシ類…… 38
Ⅳ）病害虫発生程度別面積…… 39
Ⅴ）病害虫発生経過の概要及び発生原因の解析…… 42
１．イネの病害虫…… 42
２．ムギの病害…… 43
３．ダイズの病害虫…… 43
４．ナシの病害虫…… 43
５．カキの病害虫…… 44
６．夏秋キャベツの病害虫…… 45
７．冬キャベツの病害虫…… 45
８．タマネギの病害虫…… 45
９．イチゴの病害虫…… 46
Ⅵ）情報の提供、諸報告に関する事項…… 47
１．情報の提供先…… 47
２．発表状況…… 47
３．発表内容…… 48
注意報　第１号 果樹カメムシ類…… 49
技術資料　第１号 水稲　QoI剤耐性イネいもち病 …… 51
第２号 イチゴのハダニ類 …… 53
第３号 タマネギべと病 …… 55
第４号 イネ科作物アワヨトウ …… 57
Ⅶ）気象表…… 59

平成２９年度農作物有害動植物発生予察事業年報

島根県農業技術センター
島 根 県 病 害 虫 防 除 所

Ⅰ　事業の目的

病害虫の防除を適時で経済的なものとするため、病害虫の発生、農作物の生育及び気象などの状況を調査して、病害虫の発生を予察し、それに基く情報を関係者に提供する。

Ⅱ　事業実施の方針と概要

指定有害動植物に重点をおき、これらの病害虫の発生予察法の確立を図るとともに、農業普及部及び病害虫防除員などと連絡を密にし、確実な情報の収集に努め、発生予報、特殊報、注意報及びその他必要な情報をすみやかに提供して、適期防除による被害防止に努めた。また、ＪＡなど生産者団体とは絶えず緊密な連絡をとり、重要な病害虫の発生に際しては、その都度資料を提示して適切な対策について協議決定し、防除に万全を期した。

Ⅲ　事業対象有害動植物の種類

１．普通作物等

１）イネ	指　定	稲こうじ病、いもち病、縞葉枯病、ばか苗病、もみ枯細菌病、紋枯病、イネミズゾウムシ、コブノメイガ、セジロウンカ、ツマグロヨコバイ、トビイロウンカ、ニカメイガ、斑点米カメムシ類、ヒメトビウンカ、フタオビコヤガ
２）ムギ	指　定	赤かび病、うどんこ病
３）ダイズ	指　定	アブラムシ類、吸実性カメムシ類、ハスモンヨトウ

２．野菜

１）イチゴ	指　定	うどんこ病、炭疽病、灰色かび病、アザミウマ類、アブラムシ類、ハダニ類
２）キャベツ	指　定	菌核病、黒腐病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、ヨトウガ、コナガ、オオタバコガ、シロイチモジヨトウ
３）タマネギ	指　定	白色疫病、べと病、アザミウマ類

３．果樹

１）カキ	指　定	炭疽病、アザミウマ類、カイガラムシ類、カキノヘタムシガ、ハマキムシ類、果樹カメムシ類
２）ナシ	指　定	黒星病、黒斑病、アブラムシ類、シンクイムシ類、ハダニ類、ハマキムシ類

４．花き

１）キク	指　定	白さび病、アザミウマ類、アブラムシ類

５．作物共通	措　定	オオタバコガ、シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ、ヨトウガ、コナガ、果樹カメムシ類

Ⅳ　事業実施組織と本年度の実施方法

農作物有害動植物発生予察事業実施要綱、同要領に準拠する。

１．病害虫防除所における予察事業担当者

職　名	氏　　名	担　当
科　　長	奈良井 祐 隆	虫　害
専門研究員	磯 田　　淳	病　害
〃	澤 村 信 生	虫　害
主任研究員	福 間 貴 寿	病　害
	永 島　　進	病　害
研　究　員	藤 原 証 太	病　害
〃	角　菜 津 子	虫　害
	山 本 隼 佑	虫　害

２．病害虫防除員

水稲、果樹に関する病害虫防除員は本県の主要産地である市町村に配置している。水稲17名。

３．予察圃場設置一覧

１）県予察圃場

種　類	設 置 場 所	品　　種　　等
イ　　ネ	出雲市芦渡町	コシヒカリ
ム　　ギ	〃	農林61号、アサカゴールド
ナ　　シ	〃	二 十 世 紀　（４２年生樹）
カ　　キ	〃	富　有　（４２年生樹）

２）地区予察圃場

種　　類	設　置　地　点　名
イ　　ネ	邑智郡川本町田窪
ナ　　シ	安来市中津町
カ　　キ	出雲市東福町

４．予察灯・フェロモントラップ設置一覧

病害虫名	設　　置　　地　　点　　名	備　　考
ウ　ン　カ　類	出雲市芦渡町	予察灯
ウ　ン　カ　類	出雲市芦渡町	粘着誘殺灯
ニカメイチュウ	出雲市芦渡町	ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ
モモシンクイガ	安来市中津町	ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ
ナシヒメシンクイ	安来市中津町	ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ
ヨ　ト　ウ　ガ　類	益田市飯田町	ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ

Ⅴ　事業内容

１．平成２９年度における調査観察成績

Ⅰ）普通作物等

（Ⅰ）イネ

１．イネの生育状況

１）生育概況

育苗期間は気温の周期的な変動が大きく、一部地域においてムレ苗が発生したものの、全体的には順調に推移した。田植期に入ると高温多照となり、一部地域では少雨により、用水が不足し移植が遅れた地域も見られたが、田植えの進捗は平年並みとなった。また移植直後の強風により、高温で徒長した苗の植え痛みが散見された。

活着期に入っても高温傾向が続いたが、５月下旬に入ると気温が平年を下回る日が続き、茎数はやや多く、草丈は高く推移した。全体的な生育は平年並み～やや早まった。病害虫では益田・大田・出雲・隠岐地域などの地域においてアワヨトウによる食害が見られ、６月２９日には病害虫防除所から技術資料が発出される事態が発生したが、広域な被害にまで拡大しなかった。

６月が低温で推移したために、殆どの品種で幼穂形成期は平年並みとなったが、６月下旬からの急激な高温により出穂までの期間が短縮し、出穂期がハナエチゼンなどの早植えの品種で２日、それ以外のコシヒカリなどでは５～８日ほど平年に比べ早まった。

登熟期間は８月第６半旬から平年より気温が低く推移したものの、好天に恵まれたこともあり収穫作業は順調に実施された。途中集中豪雨があったものの、その影響は一部であり、登熟期も平年に比べ３～１０日早くなった。収量構成要素を見ると、有効茎歩合が低く、穂数が少なくなったことに加え、１穂籾数もやや少なくなったため㎡当たり籾数は少なくなった。一方、その補償作用として登熟歩合や千粒重が高まった。このことから作況試験の玄米重をみると、５月１０日植えのもので「平年並み～やや不良」、５月２５日植えのもので「平年並み～やや良」となった。

しかしながら、水稲の作柄は10 a当たり収量519kg、作況指数は102となり、作況試験データと乖離する結果となった。

２）検査概況

平成29年産の検査数量は42,336 tで、うち「うるち米」が39,826t、「もち米」が1,592t（45.5 %）、「醸造用米」が918t（68.1 % ）となった。うるち米の一等米比率は67.5%で昨年をわずかに上回る数字となった。これは作付面積が近年増加している「きぬむすめ」の品質が前年にくらべ10ポイント高かったためと思われる。品種別では作付面積の2/3を占める「コシヒカリ」が61.9%（前年62.2%）とここ数年と同様に平坦部の等級低下が大きく、山間部との格差が大きかった。格下げの理由の第1位は「心白．腹白」、第2位は「整粒不足」（平成30年1月31日現在）であった。なお、その他の品種の格落ち理由の第1位は「整粒不足」であった。もち米の1等米比率は45.5%でこちらも昨年をわずかに下回る数字となった。これはすべての品種で一等米比率がおしなべて低下したためである。醸造用米では、昨年産に引き続き「特上」はなく、各品種ともわずかに 「特等」 が2.1%（前年1.6%）と増加した。

（2017年産水稲・麦類・大豆の作柄概況（農業技術センター技術普及部）より抜粋）

２．病害虫に関する調査結果

１）稲こうじ病

（１）発病状況調査

①巡回における調査

調査時期	品種	調査圃場数	発生圃場率	調査株数	発病株率	株当り病粒数
８月下旬	主にコシヒカリ	70	0　%	1750 株	0　%	0　個
９月中旬	きぬむすめ	52	42.0	1300	5.7	0.36

2）葉いもち

（1）発病状況調査

①定点における調査

○県予察圃場（出雲市芦渡町）

区　別	調査月日	草丈	茎数	発病株率	発病度	病斑型
普通肥料区	6.15	31.0 cm	16.9 本	0 %	0	
	26	38.9	26.0	0	0	
	7. 5	65.1	23.7	0	0	
	14	79.1	25.8	0	0	
	25	95.2	25.0	0	0	
	8. 4	101.7	25.1	0	0	
窒素増量区	6.15	39.1	15.4	0	0	
	20	47.0	19.7	0	0	
	7. 5	57.2	20.6	0	0	
	14	68.8	19.2	0	0	
	25	90.6	20.0	0	0	
	8. 4	98.9	19.3	0	0	

注）調査株数：50株、品種：コシヒカリ(5月８日植え)

○地区予察圃場（川本町田窪）

区　別	調査月日	草丈	茎数	発病株率	発病度
普通肥料区	6.14	30.5 cm	10.5 本	0 %	0
	23	39.1	13.8	0	0
	7. 4	58.9	19.3	0	0
	13	77.0	24.1	0	0
	24	85.9	23.4	0	0
	8. 3	94.8	23.8	0	0

注）調査株数：50株、品種：きぬむすめ

②巡回による調査（特定圃場）

ア．出雲市

調査月日	発生圃場率	発病株率	発病度
6.15	0 %	0 %	0 %
26	0	0	0
7. 5	0	0	0
14	0	0	0
25	0	0	0
8. 4	0	0	0

注）20圃場、500株調査

イ．雲南市（大東町、加茂町）

調査月日	発生圃場率	発病株率	発病度
6.15	0 %	0 %	0 %
26	0	0	0
7. 5	0	0	0
14	0	0	0
25	5.0	0.2	0.1
8. 4	5.0	0.2	0.1

注）20圃場、500株調査

ウ．大田市、邑智郡、江津市

調査月日	発生圃場率	発病株率	発病度
6.14	0 %	0 %	0 %
23	0	0	0
7. 4	0	0	0
13	0	0	0
24	6.7	0.3	0.1
8. 3	10.0	0.4	0.1

注）30圃場、750株調査

③置き苗の発病状況調査

調査時期	発生地点率*
６月第１半旬	0.4　%

注）*：置き苗放置圃場に対する割合

3）穂いもち

（1）発病状況調査

①定点における調査

○県予察圃場（出雲市芦渡町）

区　別	8月24日	
	発病株率	発病穂率
普通肥料区	0 %	0 %
窒素増量区	0	0

注）調査株数：50株

○地区予察圃場（川本町田窪）

区　別	8月23日	
	発病株率	発病穂率
普通肥料区	0 %	0 %

注）調査株数：50株

②巡回における調査

調 査 地 域	調査月日	調査圃場数	発生圃場率	調査穂数	発病穂率
出雲市	8.24	20	0 %	9182 本	0 %
雲南市（大東町、加茂町）	8.24	20	0	8830	0
大田市、邑智郡、江津市	8.23	30	0	15347	0
合　計・平　均		70	0	33359	0

4）縞葉枯病

（1）発病状況調査

①巡回における調査

調査時期	調査圃場数	発生圃場率	調査株数	発病株率	発病度
6月中旬	70	0 %	1750株	0 %	0 %
6月下旬	70	0	1750	0	0
7月上旬	70	0	1750	0	0
7月中旬	70	0	1750	0	0
7月下旬	70	0	1750	0	0
8月上旬	70	0	1750	0	0
8月下旬	70	0	1750	0	0

5）ばか苗病

（1）発病状況調査

①巡回における調査

調査時期	調査圃場数	発生圃場率	調査株数	発病株率
6月下旬	70	0 %	1750 株	0 %
7月下旬	70	0	1750	0

6）もみ枯細菌病

（1）発病状況調査

①巡回における調査

調査時期	品種	調査圃場数	発生圃場数	調査株数	発病株数	調査穂数	発病穂数
8月下旬	主にコシヒカリ	70	0	1750 株	0 株	33359 本	0 本
9月中旬	きぬむすめ	52	1	1300	1	27670	1

7）紋枯病

（１）発病状況調査

①定点における調査

○県予察圃場（出雲市芦渡町）

区　別	調査月日	草丈	茎数	発病株率	発病度
普通肥料	6.15	31.0 cm	16.9 本	0 %	0 %
	26	38.9	26.0	0	0
	7. 5	65.1	23.7	0	0
	14	79.1	25.8	0	0
	25	95.2	25.0	0	0
	8. 4	101.7	25.1	2.0	0.5
	14	102.4	25.1	2.0	1.5
	24	102.5	25.1	2.0	2.0
窒素増量区	6.15	28.7 cm	15.4 本	0 %	0 %
	26	35.0	19.7	0	0
	7. 5	56.9	20.6	0	0
	14	75.6	19.2	0	0
	25	95.5	20.0	0	0
	8. 4	98.9	19.3	2.0	0.5
	14	100.4	19.3	4.0	2.0
	24	100.6	19.3	4.0	3.5

注）調査株数：50株、品種：コシヒカリ(5月８日植え)

○地区予察圃場（川本町田窪）

区　別	調査月日	草丈	茎数	発病株率	発病度
普通肥料区	6.14	30.5 cm	10.5 本	0 %	0
	23	39.1	13.8	0	0
	7. 4	58.9	19.3	0	0
	13	77.0	24.1	0	0
	24	85.0	23.4	0	0
	8. 3	94.8	23.8	0	0
	23	108.1	23.9	4.0	1.0

注）調査株数：50株、品種：きぬむすめ

②巡回による調査（特定圃場）

ア．出雲市

調査月日	発生圃場率	発病株率	発病度
6.15	0 %	0 %	0
26	0	0	0
7. 5	0	0	0
14	5.0	0.2	0.05
25	20.0	0.8	0.20
8. 4	30.0	1.2	0.30
24	30.0	1.8	0.80

注）20圃場、500株調査

イ．雲南市（大東町、加茂町）

調査月日	発生圃場率	発病株率	発病度
6.15	0 %	0 %	0
26	0	0	0
7. 5	10.0	0.2	0.10
14	20.0	1.4	0.35
25	30.0	3.0	0.80
8. 4	45.0	5.0	1.45
24	50.0	11.6	5.55

注）20圃場、500株調査

ウ．大田市、邑智郡、江津市

調査月日	発生圃場率	発病株率	発病度
6.14	0 %	0 %	0
23	0	0	0
7. 4	0	0	0
13	3.3	0.1	0.03
24	3.3	0.5	0.13
8. 3	13.3	0.9	0.23
23	20.0	2.3	1.10

注）30圃場、750株調査

8）イネミズゾウムシ

（1）予察灯による成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表

地点名	出雲市芦渡町		地点名	出雲市芦渡町		地点名	出雲市芦渡町	
月.半旬	本 年	平 年	月.半旬	本 年	平 年	月.半旬	本 年	平 均
4．1	0	0.0	6．1	0	0.6	8．1	15	6.3
2	0	0.0	2	0	1.2	2	3	6.8
3	0	0.0	3	0	0.5	3	0	2.2
4	0	0.0	4	0	1.9	4	1	1.5
5	0	0.0	5	0	12.5	5	0	0.5
6	0	0.2	6	0	30.3	6	0	1.3
5．1	0	9.1	7．1	1	18.4	9．1	0	0.9
2	7	6.6	2	2	14.7	2	0	0.0
3	1	1.3	3	2	6.6	3	0	0.1
4	1	5.8	4	2	12.4	4	0	0.0
5	6	4.7	5	11	9.6	5	0	0.0
6	0	5.9	6	2	8.0	6	0	0.0
						総 計	54	169.9

（2）巡回による調査

①５月30日～６月１日調査

		被害程度別株数(25株/圃場)					
	圃場数	A	B	C	D	E	計
東部平坦	24	0	0	51	142	407	600
東部山間	6	0	0	2	19	129	150
西部平坦	16	0	0	0	39	361	400
合　　計	42	0	0	53	200	897	1150
平　　均		0	0	1.15	4.35	19.5	25.0
被害株率(%)							22.0
被 害 度							6.65

イネミズ被害程度（被害葉率）Ａ：91%以上，Ｂ：61～90%，Ｃ：31～60%，Ｄ：１～30%，Ｅ：０

9）コブノメイガ

（1）予察灯・粘着誘殺灯による成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表

地　点	出 雲 市 芦 渡 町			
	６０W白熱		２０W粘着	
月．半旬	本 年	平 年	本 年	平 年
6．1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0
7．1	0	0.0	0	0.6
2	0	0.0	0	0.1
3	0	0.1	0	0.2
4	0	0.0	0	0.3
5	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.3

８．１	0	0.0	0	1.9
2	0	0.0	0	0.7
3	0	0.0	1	0.0
4	0	0.0	0	0.1
5	0	0.4	0	1.0
6	0	0.2	0	0.1
９．１	0	0.0	0	1.3
2	0	0.0	0	2.7
3	0	0.0	1	4.8
4	0	0.0	0	1.9
5	0	0.0	0	0.8
6	0	0.0	0	1.3
総　計	0	0.8	2	18.1

注）予察灯は４～９月（４～５月はデータ省略）、粘着誘殺灯は６～９月の間設置した。

（２）定点における調査

①６月26～27日調査

	圃場数	50株当り成虫数	25株当り被害株数
東部平坦	22	0	0
東部山間	6	0	0
西部平坦	16	0	0
西部山間	0	0	0
合　計	44	0	0
平　均		0	0
圃場率(%)		0	0
被害株率(%)		0	0

②７月26日～８月３日調査

	圃場数	50株当り成虫数	25株当り被害株数
東部平坦	22	0	0
東部山間	6	0	1
西部平坦	16	0	0
西部山間	0	0	0
合　計	44	0	1
平　均		0	0
圃場率(%)		0	2.3
被害株率(%)		0	0.1

③８月28～31日調査

	圃場数	50株当り成虫数	25株当り被害株数
東部平坦	18	0	1
東部山間	4	0	0
西部平坦	12	0	3
西部山間	0	0	0
合　計	34	0	4
平　均		0	0.1
圃場率(%)		0	11.8
被害株率(%)		0	0.5

10）セジロウンカ

（1）予察灯・粘着誘殺灯による成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表

地　点	出雲市芦渡町			
	６０W白熱		２０W粘着	
月．半旬	本 年	平 年	本 年	平 年
６．１	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0
4	0	1.1	0	0.9
5	0	21.0	0	1.5
6	0	27.9	0	3.0
７．１	0	27.8	3	12.1
2	0	8.0	0	66.1
3	0	236.3	0	568.6
4	0	4.4	1	3.7
5	0	2.7	3	7.5
6	0	15.2	0	25.6
８．１	0	3.3	1	16.2
2	10	3.9	8	16.4
3	2	11.5	1	21.3
4	2	7.2	90	8.6
5	0	7.4	13	19.2
6	5	14.9	26	87.8
９．１	2	6.0	0	15.4
2	98	3.2	28	6.6
3	3	2.1	20	2.7
4	0	2.7	1	3.1
5	8	1.0	0	1.3
6	0	0.3	0	1.8
総 計	130	407.3	195	889.4

注）予察灯は４～９月（４～５月はデータ省略）、粘着誘殺灯は６～９月の間設置した。

（2）定点と巡回による調査

①６月26～27日調査

	圃場数	成虫	幼虫	合計
東部平坦	22	0	0	0
東部山間	6	0	0	0
西部平坦	16	5	13	18
西部山間	0	0	0	0
合　計	44	5	13	18
平　均		0.1	0.3	0.4
圃場率(%)		4.5	4.5	6.8
成虫比				27.8
ウンカ比				39.1

注）調査方法：50株払い落し（粘着板使用）

②７月26日～８月３日調査

	圃場数	成虫	幼虫	合計
東部平坦	22	13	50	63
東部山間	6	1	10	11
西部平坦	16	6	9	15
西部山間	0	0	0	0
合　計	44	20	69	89
平　均		0.5	1.6	2
圃場率(%)		22.7	38.6	47.7
成虫比				22.5
ウンカ比				27.9

注）調査方法：25株払い落し（粘着板使用）

③８月28～31日調査

	圃場数	成虫	幼虫	合計
東部平坦	18	4	36	40
東部山間	4	1	0	1
西部平坦	12	14	94	108
西部山間	0	0	0	0
合　計	34	19	130	149
平　均		0.6	3.8	4.4
圃場率(%)		29.4	58.8	61.8
成虫比				12.8
ウンカ比				48.9

注）調査方法：25株払い落し（粘着板使用）

11）ツマグロヨコバイ

（1）予察灯による成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表

地点名	出雲市芦渡町		地点名	出雲市芦渡町		地点名	出雲市芦渡町	
月.半旬	本 年	平 年	月.半旬	本 年	平 年	月.半旬	本　年	平　均
4．1	0	0.0	6．1	0	0.1	8．1	10	53.0
2	0	0.0	2	0	0.2	2	2	20.3
3	0	0.0	3	0	0.4	3	0	32.9
4	0	0.1	4	0	1.5	4	2	15.2
5	0	0.0	5	0	3.8	5	0	10.7
6	0	0.0	6	4	3.6	6	5	21.4
5．1	0	1.6	7．1	5	9.6	9．1	75	49.3
2	0	0.4	2	16	11.1	2	5	22.9
3	0	0.0	3	5	13.8	3	2	13.9
4	0	0.0	4	10	12.4	4	0	8.0
5	0	0.0	5	50	62.3	5	0	4.6
6	0	0.0	6	13	88.6	6	0	2.7
						総計	204	464.4

（2）定点と巡回による調査

①６月26～27日調査

	圃場数	成虫	幼虫	合計
東部平坦	22	2	5	7
東部山間	6	12	4	16
西部平坦	16	1	5	6
西部山間	0	0	0	0
合　計	44	15	14	29
平　均		0.3	0.3	0.7
圃場率(%)		9.1	11.4	15.9
成虫比				51.7

注）調査方法：50株払い落し（粘着板使用）

②７月26日～８月３日調査

	圃場数	成虫	幼虫	合計
東部平坦	22	25	36	61
東部山間	6	1	1	2
西部平坦	16	39	30	69
西部山間	0	0	0	0
合　計	44	65	67	132
平　均		1.5	1.5	3
圃場率(%)		38.6	29.5	43.2
成虫比				49.2

注）調査方法：25株払い落し（粘着板使用）

③８月28～31日調査

	圃場数	成虫	幼虫	合計
東部平坦	18	28	83	111
東部山間	4	0	3	3
西部平坦	12	2	7	9
西部山間	0	0	0	0
合　計	34	30	93	123
平　均		0.9	2.7	3.6
圃場率(%)		23.5	47.1	50
成虫比				24.4

注）調査方法：25株払い落し（粘着板使用）

12）トビイロウンカ

（１）予察灯・粘着誘殺灯による成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表

地　点	出雲市芦渡町			
	６０W白熱		２０W粘着	
月．半旬	本年	平年	本年	平年
６．１	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1
７．１	0	0.2	0	0.1
2	0	0.3	0	1.1
3	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.2
８．１	0	0.2	0	1.0
2	0	0.5	0	0.2
3	0	0.5	0	0.1
4	0	0.2	1	0.3
5	0	0.7	4	2.3
6	2	0.4	9	1.5
９．１	1	0.3	0	3.3
2	1	0.6	14	2.5
3	0	0.0	13	0.0
4	0	0.1	2	0.1
5	0	0.0	0	0.4
6	0	0.0	0	0.5
総　計	4	4.1	43	13.7

注）予察灯は４～９月（４～５月はデータ省略）、粘着誘殺灯は６～９月の間設置した。

（２）定点と巡回による調査
①６月26～27日調査

	圃場数	短雌	長雌	短雄	長雄	幼虫	合計
東部平坦	22	0	0	0	0	0	0
東部山間	6	0	0	0	0	0	0
西部平坦	16	0	0	0	0	0	0
西部山間	0	0	0	0	0	0	0
合　計	44	0	0	0	0	0	0
平　均		0	0	0	0	0	0
圃場率(%)		0	0	0	0	0	0
成虫比							0
ウンカ比							0

注）調査方法：50株払い落し（粘着板使用）

②７月26日～８月３日調査

	圃場数	短雌	長雌	短雄	長雄	幼虫	合計
東部平坦	22	0	0	0	0	1	1
東部山間	6	0	0	0	0	0	0
西部平坦	16	0	0	0	0	0	0
西部山間	0	0	0	0	0	0	0
合　計	44	0	0	0	0	1	1
平　均		0	0	0	0	0	0.023
圃場率(%)		0	0	0	0	2.3	2.3
成虫比							0
ウンカ比							0.5

注）調査方法：25株払い落し（粘着板使用）

③８月28～31日調査

	圃場数	短雌	長雌	短雄	長雄	幼虫	合計
東部平坦	18	1	5	0	2	8	16
東部山間	4	0	0	0	0	0	0
西部平坦	12	1	7	0	9	1	18
西部山間	0	0	0	0	0	0	0
合　計	34	2	12	0	11	9	34
平　均		0.1	0.4	0	0.3	0.3	1
圃場率(%)		5.9	17.6	0	20.6	20.6	41.2
成虫比							73.5
ウンカ比							4.7

注）調査方法：25株払い落し（粘着板使用）

13）ニカメイガ

（１）予察灯による成虫の誘殺状況
①半旬別誘殺表

地点名	出雲市芦渡町		地点名	出雲市芦渡町		地点名	出雲市芦渡町	
月.半旬	本 年	平 年	月.半旬	本 年	平 年	月.半旬	本 年	平　均
４．１	0	0.0	６．１	0	7.8	８．１	0	1.0
2	0	0.0	2	1	2.9	2	2	0.6
3	0	0.0	3	0	1.4	3	1	1.2
4	0	0.0	4	0	1.1	4	0	0.6
5	1	0.2	5	0	0.5	5	0	0.4
6	0	0.0	6	0	0.1	6	0	0.8
５．１	0	0.2	７．１	0	0.0	９．１	0	0.2
2	0	0.4	2	0	0.0	2	0	0.2
3	0	1.0	3	0	0.0	3	0	0.0
4	0	2.1	4	0	0.4	4	0	0.3
5	2	6.2	5	1	1.0	5	0	0.0
6	2	15.0	6	3	2.8	6	0	0.0
						総計	13	48.4

②半旬別誘殺表（フェロモントラップ）

地　点	出雲市芦渡町		地　点	出雲市芦渡町	
月．半旬	本 年	平 年	月．半旬	本 年	平 年
４．１	0	0.0	７．１	3	0.1
2	0	0.0	2	1	0.0
3	0	0.2	3	2	0.1
4	0	0.1	4	1	0.1
5	0	0.5	5	0	0.6
6	1	0.9	6	11	2.0
５．１	3	1.2	８．１	2	3.7
2	22	6.2	2	0	1.0
3	16	7.8	3	1	0.2
4	5	8.9	4	1	3.1
5	24	25.8	5	2	1.1
6	18	24.8	6	0	2.2
６．１	19	20.1	９．１	0	1.2
2	12	7.3	2	0	1.1
3	13	4.4	3	1	0.4
4	3	1.5	4	0	0.1
5	4	0.5	5	9	0.3
6	1	1.0	6	2	0.1
			総　計	177	128.6

（２）定点と巡回による調査

	6月26～27日		7月26日～8月3日		8月28～31日	
	圃場数	被害株数	圃場数	被害株数	圃場数	被害株数
東部平坦	22	0	22	0	18	0
東部山間	6	0	6	0	4	0
西部平坦	16	0	16	0	12	0
西部山間	0	0	2	0	0	0
合計	44	0	44	0	34	0
平均	0		0		0	
圃場率(%)	0		0		0	
被害株率(%)	0		0		0	

注）調査方法：25株見取り調査

14）斑点米カメムシ類

（1）予察灯によるアカスジカスミカメ成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表

地点名	出雲市芦渡町		地点名	出雲市芦渡町		地点名	出雲市芦渡町	
月.半旬	本 年	平 年	月.半旬	本 年	平 年	月.半旬	本 年	平 均
4． 1	0	0.0	6． 1	0	0.7	8． 1	19	16.5
2	0	0.0	2	0	1.0	2	3	13.7
3	0	0.0	3	0	1.9	3	12	8.7
4	0	0.0	4	0	3.9	4	2	7.4
5	0	0.0	5	7	4.5	5	18	5.5
6	0	0.0	6	14	14.4	6	1	7.3
5． 1	0	0.0	7． 1	35	19.5	9． 1	7	4.8
2	0	0.0	2	18	26.9	2	5	1.7
3	0	0.1	3	7	26.6	3	1	1.3
4	0	0.0	4	16	19.0	4	2	0.4
5	0	1.1	5	23	20.0	5	0	0.4
6	0	1.1	6	28	17.2	6	0	1.2
						総 計	218	226.9

（2）巡回による調査

①６月26～27日調査（畦畔・雑草地など）

	圃場数	すくい取り虫数（20回振り・成幼虫）						
		ﾎｿﾊﾘ	ｼﾗﾎｼ	ﾄｹﾞｼﾗﾎｼ	ｸﾓﾍﾘ	ｱｶｽｼﾞ	ｱｶﾋｹﾞ	合 計
平 均	19	0.16	0	0.11	0	7.74	3.74	11.74
採取圃場率(%)		10.5	0	10.5	0	47.4	89.5	89.5

②７月13日調査（極早生品種が出穂した圃場）

	圃場数	すくい取り虫数（20回振り・成幼虫）						
		ﾎｿﾊﾘ	ｼﾗﾎｼ	ﾄｹﾞｼﾗﾎｼ	ｸﾓﾍﾘ	ｱｶｽｼﾞ	ｱｶﾋｹﾞ	合 計
平 均	14	0.71	0	0	1.86	1.50	5.36	7.86
採取圃場率(%)		28.6	0	0	21.4	35.7	78.6	85.7

15）ヒメトビウンカ

（1）予察灯による成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表

地点名	出雲市芦渡町		地点名	出雲市芦渡町		地点名	出雲市芦渡町	
月.半旬	本 年	平 年	月.半旬	本 年	平 年	月.半旬	本 年	平 均
4． 1	0	0.0	6． 1	0	0.0	8． 1	0	0.4
2	0	0.0	2	0	0.0	2	1	0.0
3	0	0.0	3	0	0.0	3	0	0.2
4	0	0.0	4	0	0.0	4	1	0.2
5	0	0.0	5	0	0.0	5	0	0.0
6	0	0.0	6	0	0.0	6	0	0.4
5． 1	0	0.0	7． 1	0	0.0	9． 1	0	0.0
2	0	0.0	2	0	0.0	2	1	0.0
3	0	0.0	3	0	0.1	3	0	0.0
4	0	0.0	4	0	0.0	4	0	0.1
5	0	0.1	5	0	0.0	5	0	0.0
6	0	0.0	6	0	0.3	6	0	0.0
						総計	3	1.8

（２）定点と巡回による調査
①６月26～27日調査

	圃場数	成虫	幼虫	合計
東部平坦	22	9	1	10
東部山間	6	0	0	0
西部平坦	16	16	2	18
西部山間	0	0	0	0
合　計	44	25	3	28
平　均		0.6	0.1	0.6
圃場率(%)		22.7	4.5	27.3
成虫比				89.3
ウンカ比				60.9

注）調査方法：50株払い落し（粘着板使用）

②７月26日～８月３日調査

	圃場数	成虫	幼虫	合計
東部平坦	22	30	84	114
東部山間	6	3	10	13
西部平坦	16	81	21	102
西部山間	0	0	0	0
合　計	44	114	115	229
平　均		2.6	2.6	5.2
圃場率(%)		68.2	65.9	81.8
成虫比				49.8
ウンカ比				71.8

注）調査方法：25株払い落し（粘着板使用）

③８月28～31日調査

	圃場数	成虫	幼虫	合計
東部平坦	18	30	19	49
東部山間	4	8	3	11
西部平坦	12	32	30	62
西部山間	0	0	0	0
合　計	34	70	52	122
平　均		2.1	1.5	3.6
圃場率(%)		64.7	50	67.6
成虫比				57.4
ウンカ比				40.0

注）調査方法：25株払い落し（粘着板使用）

16）フタオビコヤガ
（１）定点と巡回による調査

	6月26～27日		7月26～8月3日		8月28～31日	
	圃場数	被害株数	圃場数	被害株数	圃場数	被害株数
東部平坦	22	2	22	0	18	0
東部山間	6	0	6	0	4	0
西部平坦	16	0	16	0	12	0
西部山間	0	0	0	0	0	0
合計	44	2	44	0	34	0
平均	0.05		0		0	
圃場率(%)	4.5		0		0	
被害株率(%)	0.18		0		0	

注）調査方法：25株見取り調査

（Ⅱ）ムギ

１．ムギの生育状況

１）生育概況

麦の播種は11月上旬から始まったが、中旬以降まとまった雨があったことから最終的には12月に播種された圃場もあった。出芽は全般的に順調であった。

生育前半は気温が高く推移したことから全体的に生育が進み、特に１１月上旬に播種したものについては草丈が長く、茎数も平年より多くなった。しかしながら12月後半の降雨による下葉の黄化が一部の圃場で見られた。

1月～３月は気温が平年より下がったこともあり、生育が遅れだし、平年に比べ茎数がやや少なく、草丈はやや短くなった。また１月末の大雪の影響で生育が停滞した圃場も一部で確認された。

４月に入ると好天に恵まれ、気温が平年より高く推移した。

出穂は平年より２～3日程度早くなり、二条大麦、はだか麦で3月中旬～4月上旬、小麦で4月中旬となった。

また登熟期も高温で推移したことから登熟も早まり、成熟期以降も好天や適期防除などにより病害の発生は少なかった。収穫作業は二条大麦と麦で6月に入ってから始まり全麦種とも6月中旬には収穫を終了した。

２）作柄及び検査概況

生育後期が好天に恵まれたため、最終的には品質は良好で収量も高くなった。収穫量の平年対比二条大麦１４６％、小麦１２６％、品質も小麦、はだか麦が前年を上回る高品質なものが生産された。

（2017年産水稲・麦類・大豆の作柄概況（農業技術センター技術普及部）より抜粋）

２）生育状況調査

○県予察圃場（出雲市芦渡町）

品　種　名	H29年３月16日		３月30日	４月13日
	草　　丈	茎数（100㎝）	草　　丈	草　　丈
サチホゴールデン	47.6 ㎝	92.0　本	68.8 ㎝	98.5 ㎝
農林61号	60.4	117.3	74.9	93.3

注）播種日と出穂期

サチホゴールデン：H28年11月13日、H29年３月31日

農林61号：H28年10月24日、H29年３月27日

２．病害虫に関する調査結果

１）さび病類、うどんこ病、斑葉病、雲形病、赤かび病

（１）発病状況調査

①定点における調査

○県予察圃場（出雲市芦渡町）

品　種　名	さび病類			うどんこ病		
	４月10日	４月30日	５月15日	４月10日	４月30日	５月15日
サチホゴールデン	0　％	0　％	0　％	0　％	0　％	0　％
農林61号	0	0	0	0	0	0

注）表中の数字は発病茎率

雲形病、斑葉病、赤かび病の発生はみられなかった。

②巡回による調査

ア．オオムギ(二条)

調　査 月　日	調査 場所	調査 圃場数	小さび病		うどんこ病		赤かび病		斑葉病	
			発生 圃場率	発病 茎率	発生 圃場率	発病 茎率	発生 圃場率	発病 茎率	発生 圃場率	発病 茎率
29.3.29	出雲市	40	0　％	0　％	0　％	0　％	－％	－　％	0　％	0　％
4.25	出雲市	40	0	0	0	0	0	0	0	0
5.15	出雲市	40	0	0	0	0	0	0	0	0

注）黄さび病、雲形病の発生は認められなかった。

イ．オオムギ(六条)

調査月日	調査場所	調査圃場数	小さび病		うどんこ病		赤かび病		雲形病	
			発生圃場率	発病茎率	発生圃場率	発病茎率	発生圃場率	発病茎率	発生圃場率	発病茎率
29.3.29	出雲市	5	0 %	0 %	0 %	0 %	- %	- %	0 %	0 %
4.25	出雲市	5	0	0	0	0	0	0	0	0
5.15	出雲市	5	0	0	0	0	0	0	0	0

注）黄さび病、斑葉病の発生は認められなかった。

ウ．コムギ

調査月日	調査場所	調査圃場数	赤さび病		うどんこ病		赤かび病	
			発生圃場率	発病茎率	発生圃場率	発病茎率	発生圃場率	発病茎率
29.3.29	出雲市	20	0 %	0 %	0 %	0 %	- %	- %
3.30	松江市	19	0	0	0	0	-	-
4.24	松江市	16	31.0	16.9	0	0	0	0
4.25	出雲市	20	0	0	0	0	0	0
5.15	出雲市	20	10.0	2.9	0	0	15.0	0.15
5.19	松江市	16	25.0	23.5	0	0	6.3	0.1

注）黄さび病の発生は認められなかった。

（Ⅲ）ダイズ

１．病害虫に関する調査結果

１）アブラムシ類

（１）黄色水盤による有翅虫の有殺状況

①半旬別誘殺数

イチゴのアブラムシ類の項参照。

2）吸実性カメムシ類

（1）パネルトラップによる調査（出雲市芦渡町）

調査月日	アオクサカメムシ	イチモンジカメムシ	ホソヘリカメムシ
6月22日	0	0	3
6月27日	0	4	16
6月29日	0	0	2
7月3日	0	1	15
7月10日	0	0	28
7月14日	0	0	29
7月18日	0	1	21
7月25日	0	1	9
7月28日	0	1	16
8月2日	0	2	36
8月5日	0	0	11
8月9日	0	0	15
8月14日	0	2	29
8月17日	0	1	12
8月23日	0	0	30
8月29日	0	1	27
9月1日	0	4	11
9月7日	0	5	23
9月16日	0	2	16
9月23日	0	5	24
9月30日	0	7	18
10月4日	0	1	5
10月10日	0	2	6
10月16日	0	2	7
10月22日	0	0	5
10月27日	0	1	7
11月1日	0	0	0

3）ハスモンヨトウ

（1）フェロモントラップによる雄成虫の誘殺状況

キャベツのハスモンヨトウの項に掲載。

（2）被害状況調査

①巡回による調査（斐川地区）

調査月日	調査圃場数	発生圃場率(%)	1a当り白変か所数
29. 8.30	20	40	0.8

Ⅱ）果樹

※共通：圃場No. は連番とはせず、過去の調査と比較しやすいように固有番号としている。

（Ⅰ）ナシ

１．病害虫に関する調査結果

１）黒斑病、黒星病

（１）発病状況調査（１圃場10新梢の全葉について調査。４月下旬は幼果について１圃場100果実調査）

①定点における調査

地区予察圃場（安来市中津町、二十世紀、慣行散布）調査結果は圃場NO.7に記載。

②巡回による調査（安来市、二十世紀、慣行散布）

ア．2017年４月25日調査

圃場	調査	落葉率(%)	調　査	黒　斑　病		黒　星　病	
NO.	葉数		生葉数	発病葉率(%)	発病度	発病葉率(%)	発病度
５	61	0	61	0	0	0	0
７	72	0	72	0	0	0	0
８	76	0	76	0	0	0	0
１０	71	0	71	0	0	0	0
１４	76	0	76	0	0	0	0
１５	75	0	75	0	0	0	0
１６	76	0	76	0	0	0	0
１７	82	0	82	0	0	0	0
平均	73.6	0	73.6	0	0	0	0

圃場	調査	黒　星　病
NO.	幼果数	発病幼果率(%)
５	100	0
７	100	0
８	100	0
１０	100	0
１４	100	0
１５	100	0
１６	100	0
１７	100	0
平均	100	0

イ．６月２日調査

圃場	調査	落葉率(%)	調　査	黒　斑　病		黒　星　病	
NO.	葉数		生葉数	発病葉率(%)	発病度	発病葉率(%)	発病度
５	172	0	172	0	0	0	0
７	160	0	160	1.9	0.5	0	0
８	174	0	174	1.2	0.3	0	0
１０	168	0	168	0.6	0.2	0	0
１４	167	0	167	0	0	0	0
１５	171	0	171	0	0	0	0
１６	164	0	164	2.4	0.6	0	0
１７	175	0	175	1.1	0.3	0	0
平均	169.9	0	169.9	0.9	0.2	0	0

ウ．６月28日調査

圃場 NO.	調査葉数	落葉率(%)	調査生葉数	黒斑病 発病葉率(%)	黒斑病 発病度	黒星病 発病葉率(%)	黒星病 発病度
５	161	0	161	0	0	0	0
７	179	0	179	5.6	1.4	0	0
８	169	0	169	17.8	4.7	1.8	0.4
１０	176	0	176	4.0	1.1	0.6	0.1
１４	201	0	201	1.0	0.3	0	0
１５	229	0	229	2.2	0.6	0	0
１７	201	0	201	0	0	0	0
平均	188.0	0	188.0	4.4	1.2	0.3	0.1

エ．８月３日調査

圃場 NO.	調査葉数	落葉率(%)	調査生葉数	黒斑病 発病葉率(%)	黒斑病 発病度	黒星病 発病葉率(%)	黒星病 発病度
５	145	0	145	2.8	0.9	1.4	0.3
７	170	1.8	167	19.2	8.2	0.6	0.2
８	173	2.9	168	35.1	15.6	4.8	1.2
１０	175	1.1	173	7.5	2.3	2.9	0.7
１４	175	0	175	4.0	1.0	0.6	0.1
１５	192	0	192	9.9	2.7	0.5	0.1
１７	220	0	220	0.9	0.2	0	0
平均	178.6	0	177.1	11.3	4.4	1.5	0.4

オ．８月30日調査

圃場 NO.	調査葉数	落葉率(%)	調査生葉数	黒斑病 発病葉率(%)	黒斑病 発病度	黒星病 発病葉率(%)	黒星病 発病度
７	176	12.5	154	46.1	19.3	0	0
８	167	7.2	155	41.3	20.2	5.8	1.5
１０	171	0	171	18.1	7.9	2.9	0.7
１４	202	0	202	4.0	1.1	0.5	0.1
１５	176	0	178	10.8	2.7	0	0
１７	185	0	185	6.5	1.6	0.5	0.1
平均	179.5	3.3	173.8	21.1	8.8	1.6	0.4

2）ナシヒメシンクイ

（1）予察灯による成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表

月・半旬	県予察圃場（出雲市芦渡町）				地区予察圃場(安来市中津町)	
	水銀灯（１００W）		フェロモントラップ		フェロモントラップ	
	本 年	平 年	本 年	平 年	本　年	平　年
4．1	0	0.0	0	0.6	0	0.6
2	0	0.0	0	0.7	0	0.9
3	0	0.0	1	2.1	0	36.0
4	0	0.0	6	5.2	0	21.0
5	0	0.0	3	2.9	14	35.0
6	0	0.0	5	4.6	10	16.0
5．1	0	0.0	0	4.7	21	44.4
2	0	0.0	0	3.5	32	31.7
3	0	0.0	4	1.4	4	20.7
4	0	0.0	0	2.5	10	9.1
5	0	0.0	0	0.5	23	15.5
6	0	0.0	0	1.0	11	9.5
6．1	0	0.0	2	1.9	10	5.1
2	0	0.0	1	6.4	0	11.7
3	0	0.0	2	2.8	0	20.1
4	0	0.0	0	2.0	26	21.8
5	0	0.0	0	1.4	42	34.3
6	0	0.0	0	0.7	25	32.0
7．1	0	0.0	0	0.8	18	0.4
2	0	0.0	0	1.0	8	29.7
3	0	0.0	0	1.3	7	16.5
4	0	0.0	0	4.9	0	38.7
5	0	0.0	0	4.1	13	24.6
6	0	0.0	0	2.2	24	27.7
8．1	0	0.0	0	1.2	0	2.0
2	0	0.0	3	2.2	18	25.0
3	0	0.0	3	1.9	22	15.3
4	0	0.0	0	0.8	11	17.8
5	0	0.0	0	1.1	0	16.4
6	0	0.1	0	0.6	26	8.7
9．1	0	0.0	1	1.6	12	12.1
2	0	0.1	3	1.3	28	6.3
3	0	0.0	0	1.2	0	9.2
4	0	0.0	0	0.2	8	1.0
5	0	0.0	0	0.0	0	8.4
6	0	0.0	0	0.0	4	0.3
１０．1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合　計	0	0.1	32	71.3	427	625.5

3）ナシオオシンクイガ

（1）予察灯による成虫の誘殺状況

月・半旬	県予察圃場（出雲市芦渡町） 本年	県予察圃場（出雲市芦渡町） 平年	月・半旬	県予察圃場（出雲市芦渡町） 本年	県予察圃場（出雲市芦渡町） 平年
4. 1	0	0.0	8. 1	0	0.0
2	0	0.0	2	0	0.0
3	0	0.0	3	0	0.0
4	0	0.0	4	0	0.0
5	0	0.0	5	0	0.0
6	0	0.0	6	0	0.0
5. 1	0	0.0	9. 1	0	0.0
2	0	0.0	2	0	0.0
3	0	0.0	3	0	0.0
4	0	0.0	4	0	0.0
5	0	0.0	5	0	0.0
6	0	0.0	6	0	0.0
6. 1	0	0.0	10.1	0	0.0
2	0	0.0	2	0	0.0
3	0	0.0	3	0	0.0
4	0	0.0	4	0	0.0
5	0	0.0	5	0	0.0
6	0	0.0	6	0	0.0
7. 1	0	0.0	合計	0	0.0
2	0	0.0			
3	0	0.0			
4	0	0.0			
5	0	0.0			
6	0	0.0			

4）モモシンクイガ

（1）フェロモントラップによる雄成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表（モモシンクイガ）

月・半旬	県予察圃場（出雲市芦渡町） 本年	県予察圃場（出雲市芦渡町） 平年	地区予察圃場（安来市中津町） 本年	地区予察圃場（安来市中津町） 平年	月・半旬	県予察圃場（出雲市芦渡町） 本年	県予察圃場（出雲市芦渡町） 平年	地区予察圃場（安来市中津町） 本年	地区予察圃場（安来市中津町） 平年
5．1	0	0.0	0	0.0	8．1	0	0.0	0	9.8
2	0	0.0	0	0.0	2	0	0.0	0	14.1
3	0	0.0	0	0.0	3	0	0.0	52	30.0
4	0	0.0	0	0.0	4	0	0.0	10	7.9
5	0	0.0	0	0.0	5	0	0.0	11	21.8
6	0	0.0	0	0.0	6	0	0.0	35	9.6
6．1	0	0.0	0	4.6	9．1	0	0.0	0	2.9
2	0	0.0	20	20.5	2	0	0.0	10	0.3
3	0	0.0	0	21.7	3	0	0.0	8	1.3
4	0	0.0	11	23.3	4	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	37	26.7	5	0	0.0	4	1.2
6	0	0.0	24	19.7	6	0	0.0	0	0.0
7．1	0	0.0	13	12.2	１０．1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	4	20.9	2	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	8	18.7	3	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	6	17.0	4	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	10	11.5	5	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	11	16.6	6	0	0.0	0	0.0
				合　計		0	0.0	274	312.3

5）チャノコカクモンハマキ

（１）成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表

月 半旬	県予察圃場（出雲市芦渡町）				月 半旬	県予察圃場（出雲市芦渡町）			
	水銀灯(100W)		ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ			水銀灯(100W)		ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ	
	本年	平年	本年	平年		本年	平年	本年	平年
4. 1	0	0.0	0	0.2	8. 1	0	0.0	0	15.4
2	0	0.0	1	1.2	2	2	0.1	0	9.5
3	0	0.0	0	2.6	3	3	0.3	0	3.3
4	0	0.0	6	3.5	4	3	0.4	0	2.1
5	0	0.7	7	5.0	5	0	0.3	1	1.7
6	0	0.0	3	7.2	6	2	1.0	0	1.8
5. 1	0	0.7	7	11.0	9. 1	0	0.2	0	2.9
2	1	0.4	5	11.9	2	1	1.1	0	6.9
3	0	0.6	2	4.6	3	2	0.7	3	18.5
4	2	0.5	1	3.6	4	0	0.7	2	7.9
5	1	0.6	4	3.2	5	1	0.4	0	3.1
6	1	0.2	3	1.3	6	1	0.0	0	2.1
6. 1	0	0.1	1	1.0	10. 1	1	0.2	0	1.6
2	1	0.7	2	2.1	2	0	0.0	0	1.7
3	0	0.6	0	1.9	3	0	0.1	0	1.6
4	1	0.7	2	6.7	4	0	0.3	0	1.3
5	0	0.8	0	4.5	5	0	0.0	0	1.8
6	1	0.2	1	5.6	6	0	0.0	0	4.1
7. 1	0	0.5	0	5.8	合　計	24	18.3	52	181.3
2	0	1.3	0	2.0					
3	0	0.8	0	1.9					
4	0	0.4	0	2.7					
5	0	2.2	2	2.4					
6	0	0.5	0	2.2					

6）チャハマキ

（１）成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表

月 ・ 半旬	県予察圃場（出雲市芦渡町）				月 ・ 半旬	県予察圃場（出雲市芦渡町）			
	水銀灯(100W)		ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ			水銀灯(100W)		ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ	
	本年	平年	本年	平年		本年	平年	本年	平年
4. 1	0	0.0	0	0.0	8. 1	0	0.5	0	5.6
2	0	0.0	0	0.5	2	0	0.6	0	0.5
3	0	0.1	0	1.1	3	0	0.7	0	1.3
4	0	0.1	5	3.7	4	3	0.6	0	0.3
5	0	0.0	0	2.3	5	2	0.6	0	1.0
6	0	0.0	3	1.1	6	1	0.8	0	0.9
5. 1	0	0.2	4	2.1	9. 1	0	0.2	0	0.4
2	0	0.5	0	2.1	2	0	0.4	1	1.5
3	0	0.5	2	3.6	3	2	0.6	0	0.2
4	0	0.6	0	1.1	4	0	0.3	0	0.5
5	0	0.5	3	1.6	5	0	0.3	0	0.5
6	2	0.4	0	0.8	6	1	0.1	0	0.8
6. 1	0	0.8	0	0.8	10. 1	0	0.2	0	0.3
2	1	1.0	2	0.8	2	0	0.3	0	1.5
3	1	0.9	0	0.7	3	0	0.0	0	0.8
4	1	0.8	0	0.6	4	0	0.0	0	0.0
5	0	1.5	1	1.0	5	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	2.0	6	0	0.0	0	0.0
7. 1	1	0.3	0	1.5	合　計	21	16.0	24	52.3
2	0	0.4	1	1.2					
3	4	0.6	0	0.6					
4	0	0.2	0	2.3					
5	1	0.4	3	2.2					
6	1	0.2	0	2.7					

7）ハダニ類、カイガラムシ類

（1）越冬バンドトラップによる越冬密度調査

調査場所	カンザワハダニ		クワコナカイガラムシ	
	本年	平年	本年	平年
中津町地区圃	0.0	0.1	0.0	0.0
〃　2	0.0	0.2	0.0	0.0
〃　3	0.0	0.4	0.0	0.0
〃　4	0.0	0.0	0.0	0.0
島田町　1	0.3	3.2	0.0	0.0
〃　2	0.0	0.0	0.0	0.0
〃　3	0.0	0.0	0.0	0.0
〃　4	0.0	0.0	0.0	0.6
平　均	0.0	0.5	0.0	0.01

注）1．トラップは幅20cmのクラフト紙を太枝に巻き付けた。
　　2．1圃3個設置。　トラップ当り虫数。

（2）発生状況調査

①巡回による調査（特定圃場）

調査月日	4/25	6/2		6/28		8/3		8/28	
圃場 No.	花叢率	寄生葉率	寄生虫数	寄生葉率	寄生虫数	寄生葉率	寄生虫数	寄生葉率	寄生虫数
	%	%		%		%		%	%
地区予察圃 1	6.0	2.0	2.5	8.0	10.0	82.0	397.5	4.0	15.0
2	4.0	0.0	0.0	12.0	15.0	40.0	62.5	0.0	0.0
3	6.0	2.0	2.5	2.0	2.5	90.0	402.5	2.0	2.5
4	0.0	2.0	2.5	2.0	2.5	64.0	165.0	8.0	10.0
島　田　1	0.0	0.0	0.0	6.0	7.5	0.0	10.0	10.0	12.5
2	0.0	2.0	2.5	14.0	17.5	0.0	0.0	8.0	15.0
3	0.0	0.0	0.0	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5
4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	34.0	42.5	0.0	0.0
平　均	2.3	1.0	1.3	5.8	7.2	39.0	134.1	4.3	5.9

注）1．50花叢・50葉調査
　　2．寄生雌成虫数は寄生程度別葉数から算出
　　寄生程度
　　A：1 ～ 5　頭／葉　　虫数＝2.5A＋7.5B＋15C＋25D
　　B：6 ～ 10
　　C：11 ～ 20
　　D：21 ～
　　E：0

8）アブラムシ類

（1）発生状況調査

①巡回による調査（特定圃場）

調査月日	4/25		6/2		6/28	
圃場No.	寄生梢率	寄生度	寄生梢率	寄生度	寄生梢率	寄生度
地区予察圃場 1	2.0 %	0.5	8.0 %	2.0	8.0 %	2.5
2	2.0	0.5	6.0	1.5	16.0	6.0
3	0.0	0.0	6.0	1.5	8.0	2.0
4	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	2.0
島　田　1	6.0	1.5	8.0	2.0	0.0	0.0
2	4.0	1.0	6.0	1.5	4.0	1.0
3	2.0	0.5	16.0	4.0	0.0	0.0
4	0.0	0.0	8.0	2.0	0.0	0.0
平　均	2.0	0.5	7.3	1.8	5.5	1.7

注）1. 圃場当り50梢調査。

2. 寄生度＝ $\dfrac{4A＋3B＋2C＋D}{4×N（調査新梢数）}$ × 100

A：先端4葉全てに寄生
B：〃 3葉に寄生
C：〃 2葉 〃
D：〃 1葉 〃
E：寄生なし

（Ⅱ）カキ

１．病害虫に関する調査結果

１）炭疽病

（１）発病状況調査

（６～８月に１圃場１樹50新梢、７～10月に１圃場１樹50果実について調査）

①定点における調査

地区予察圃場（出雲市東福町、富有、慣行散布）調査結果は圃場NO.１に記載

②巡回による調査（出雲市、慣行散布）

２）うどんこ病、円星落葉病、角斑落葉病、灰色かび病、果実黒すじ病

（１）発病状況調査（１圃場１樹10新梢の全葉について調査。灰色かび病、果実黒すじ病については７～10月に１圃場１樹50果実について調査）

①定点における調査

地区予察圃場（出雲市東福町、富有、慣行散布）調査結果は圃場NO.１に記載

②巡回による調査（出雲市、慣行散布）

ア．2017年４月24日

調査園No.	調査葉数	落葉率	灰色かび病 発病葉率	備考(品種)
1	69	0 %	0 %	富　有
6	47	0	0	西　条
8	45	0	0	西　条
10	74	0	0	富　有
11	52	0	0	富　有
12	64	0	0	富　有
13	49	0	0	富　有
14	63	0	0	富　有
平　均	57.9	0	0	

イ．５月25日

調査園No.	調査葉数	落葉率	うどんこ病		灰色かび病
			発病葉率	発病度	発病葉率
1	73	0 %	0 %	0	0 %
6	82	0	0	0	0
8	58	6.9	0	0	0
10	77	0	0	0	0
11	74	0	0	0	0
12	90	0	0	0	0
13	92	0	0	0	0
14	75	0	0	0	0
平　均	77.6	0.5	0	0	0

ウ．６月27日

調査園No.	調査葉数	落葉率	炭疽病	うどんこ病		灰色かび病
			発病枝率	発病葉率	発病度	発病葉率
1	77	0 %	0 %	0 %	0	0 %
6	88	0	0	0	0	0
8	68	0	0	0	0	5.9
10	75	0	0	1.3	0.3	0
11	87	0	0	0	0	0
12	91	0	0	0	0	0
13	91	0	0	0	0	0
14	85	0	0	0	0	0
平　均	80.3	0	0	0.2	0.04	0.7

エ．７月28日

調査園No.	調査葉数	落葉率	炭疽病	うどんこ病		灰色かび病
			発病枝率	発病葉率	発病度	発病葉率
1	70	0 %	0 %	0 %	0	0 %
6	79	0	0	0	0	0
8	71	0	0	1.4	0.4	0
10	80	0	0	0	0	0
11	77	0	0	0	0	0
12	82	0	0	0	0	0
13	68	0	0	0	0	0
14	92	0	0	13.0	3.3	0
平　均	77.4	0	0	1.8	0.5	0

調査園No.	調査果数	炭疽病	灰色かび病	果実黒すじ病
		発病果率	発病果率	発病果率
1	50	0 %	0 %	0 %
6	50	0	0	0
8	50	0	0	0
10	50	0	0	0
11	50	0	0	0
12	50	0	0	0
13	50	0	0	0
14	50	0	0	0
平均	50.0	0	0	0

オ．８月29日

調査園No.	調査葉数	落葉率	炭疽病	うどんこ病	
			発病枝率	発病葉率	発病度
1	76	0 %	0 %	4.0%	1.0
6	80	0	0	0	0
8	65	1.5	0	0	0
10	87	0	0	34.5	11.5
11	86	0	0	3.5	1.5
12	84	0	0	0	0
13	75	0	0	0	0
14	82	0	0	11.0	3.7
平　均	79.4	0.2	0	6.6	2.2

調査園No.	調査果数	炭疽病	灰色かび病	果実黒すじ病
		発病果率	発病果率	発病果率
1	50	0 %	0 %	0 %
6	50	0	0	0
8	50	0	0	0
10	50	0	0	0
11	50	0	0	0
12	50	0	0	0
13	50	0	0	0
14	50	0	0	0
平均	50.0	0	0	0

カ．９月29日

調査	調査	落葉	円星落葉病		うどんこ病		角斑落葉病	
園No.	葉数	率	発病葉率	発病度	発病葉率	発病度	発病葉率	発病度
1	77	0 %	0 %	0	54.5%	25.0	0 %	0
6	78	1.3	0	0	0	0	0	0
8	66	0	0	0	57.6	20.1	0	0
10	83	0	0	0	84.3	53.6	0	0
11	74	0	0	0	60.8	26.4	0	0
12	68	0	0	0	26.5	6.6	0	0
13	84	0	0	0	0	0	0	0
14	84	0	0	0	35.7	14.3	0	0
平均	76.8	0.2	0	0	39.9	18.2	0	0

調査園No.	調査果数	炭疽病	灰色かび病	果実黒すじ病
		発病果率	発病果率	発病果率
1	50	0 %	0 %	0 %
6	50	0	0	0
8	50	0	0	0
10	50	0	0	0
11	50	0	0	0
12	50	0	0	0
13	50	0	0	0
14	50	0	0	0
平均	50.0	0	0	0

キ．10月27日

調査	調査	落葉	円星落葉病		うどんこ病		角斑落葉病	
園No.	葉数	率	発病葉率	発病度	発病葉率	発病度	発病葉率	発病度
1	73	0 %	0 %	0	93.2%	59.6	0 %	0
6	84	0	0	0	1.2	0.3	0	0
8	67	1.5	0	0	87.9	39.4	0	0
10	82	0	0	0	98.8	79.0	0	0
11	96	4.2	8.7	2.2	82.6	44.6	0	0
12	86	0	0	0	62.8	18.6	0	0
13	92	0	0	0	0	0	0	0
14	95	0	0	0	69.5	23.2	0	0
平均	84.4	0.7	1.1	0.3	62.0	33.1	0	0

調査園No.	調査果数	炭疽病	灰色かび病	果実黒すじ病
		発病果率	発病果率	発病果率
1	50	0 %	0 %	0 %
6	50	0	0	0
8	50	0	0	0
10	50	0	0	0
11	50	0	0	0
12	50	0	0	0
13	50	0	0	0
14	50	0	0	0
平均	50.0	0	0	0

3）カキミガ

（１）予察灯による成虫の誘殺状況

県予察圃場（出雲市芦渡町）での誘殺は認めなかった。

（２）被害の発生消長調査

平田市の一般圃場５園において５月下旬～８月下旬に５回各園100果について調査を行ったが被害は認めなかった。

4）カメムシ類

（１）予察灯による成虫の誘殺状況（水銀灯100W）

○県予察圃場（出雲市芦渡町）

月・半旬	ﾁｬﾊﾞﾈｱｵｶﾒﾑｼ		ｸｻｷﾞｶﾒﾑｼ		ﾂﾔｱｵｶﾒﾑｼ		ｱｵｸｻｶﾒﾑｼ	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4. 1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5. 1	0	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.6	0	0.0	0	0.0
3	87	11.0	12	0.2	13	0.0	0	0.0
4	0	2.3	0	0.3	0	1.8	0	0.1
5	0	2.1	0	0.3	0	3.5	0	0.0
6	0	4.9	0	0.9	0	3.7	0	0.0
6. 1	0	1.2	0	0.0	0	0.7	0	0.0
2	0	1.5	0	0.6	0	1.2	0	0.0
3	0	6.3	0	0.7	0	6.6	0	0.0
4	0	9.4	0	0.7	0	7.6	0	0.0
5	2	6.6	1	0.4	4	5.6	0	0.2
6	10	15.2	3	2.4	10	7.8	0	0.1
7. 1	98	69.3	16	5.6	16	9.3	0	0.2
2	17	48.5	13	11.7	2	16.9	0	0.3
3	14	62.4	35	14.3	2	9.9	0	0.5
4	68	117.4	72	29.4	9	7.9	0	0.2
5	71	83.1	191	25.9	17	10.9	0	2.9
6	60	124.2	156	38.9	8	10.3	0	1.4
8. 1	190	67.2	132	35.0	71	9.5	0	0.7
2	234	81.6	82	43.4	39	18.9	0	0.7
3	161	96.9	100	41.8	90	25.7	0	0.3
4	477	105.0	338	12.7	299	17.9	0	0.1
5	339	73.1	138	30.5	43	15.5	0	0.2
6	303	36.2	89	12.2	39	4.0	0	0.0
9. 1	0	35.6	4	3.9	0	5.3	0	0.1
2	10	17.0	3	1.0	0	4.6	0	0.0
3	4	55.2	3	3.8	0	6.6	0	0.0
4	3	12.5	0	0.9	0	3.4	0	0.0
5	0	15.7	0	1.6	0	9.4	0	0.0
6	0	3.4	0	0.1	0	0.5	0	0.0
10. 1	0	1.8	0	0.0	0	3.9	0	0.0
2	0	7.2	0	1.0	0	5.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.5	0	1.2	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.5	0	0.0
5	0	0.0	0	2.2	0	0.2	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	2148	1174.1	1388	323.7	662	235.6	0	8.0

5）チャノコカクモンハマキ

（1）予察灯・フェロモントラップによる成虫の誘殺状況
ナシのチャノコカクモンハマキの項に掲載

6）チャハマキ

（1）予察灯・フェロモントラップによる成虫の誘殺状況
ナシのチャハマキの項に掲載

7）カキクダアザミウマ

（1）粘着トラップによる誘殺状況
○県予察圃場（出雲市芦渡町）
①越冬成虫の誘殺状況

月　日	誘殺数	月　日	誘殺数	月　日	誘殺数
4.11	0	4.21	0	5. 1	0
12	0	22	0	2	0
13	0	23	0	3	0
14	0	24	0	4	0
15	0	25	0	5	0
16	0	26	0	6	0
17	0	27	0	7	0
18	0	28	0	8	0
19	0	29	0	9	0
20	0	30	0	10	0
				合　計	0

②第1世代成虫の誘殺状況

月．半旬	本年	平年	月.半旬	本年	平年	月.半旬	本年	平年
6. 1	0	0.6	7. 1	2	1.2	8. 1	0	0.0
2	1	0.8	2	0	0.3	2	0	0.0
3	4	1.2	3	0	0.0	3	0	0.0
4	1	0.4	4	0	0.0	4	0	0.0
5	0	0.3	5	0	0.0	5	0	0.0
6	2	1.1	6	0	0.0	6	0	0.0
						合　計	10	5.9

8）フジコナカイガラムシ

（1）フェロモントラップによる誘殺状況（一般圃場：出雲市東福町）

月．半旬	誘殺数	月.半旬	誘殺数	月.半旬	誘殺数
3. 1	－	6. 1	0	9. 1	58
2	－	2	0	2	81
3	－	3	1	3	101
4	－	4	0	4	124
5	－	5	0	5	81
6	－	6	5	6	51
4. 1	－	7. 1	10	10. 1	33
2	－	2	22	2	0
3	－	3	31	3	1
4	－	4	5	4	0
5	0	5	3	5	0
6	0	6	0	6	0
5. 1	0	8. 1	0	11. 1	0
2	1	2	2	2	0
3	3	3	8	3	0
4	23	4	20	4	0
5	12	5	32	5	0
6	3	6	42	6	－

（２）果実の被害状況
○一般圃場（平田市）

調査月日	調査数	カメムシ		カキクダアザミウマ		コナカイガラムシ		ハマキムシ	
		被害果数	被害果率(%)	被害梢数 ＊	被害梢率(%)	被害果数	被害果率(%)	被害果数	被害果率(%)
4.24	－	－	－	0	0	0	0	－	－
5.12	－	－	－	0	0.2	0	0	0	0
5.29	500	0	0.0	0	0	0	0	0	0
6.23	500	0	0.0	0	0	1	0.2	2	0.4
7.31	500	0	0.0	0	0	6	1.0	8	1.8
8.28	500	0	0.0	0	0	23	4.6	14	2.8
9.26	500	1	0.2	0	0	41	8.2	32	6.4
10.30	400	0	0.0	0	0	35	8.8	26	6.5

注）＊：各園100新梢、計500新梢調査

（３）定点における調査
①収穫果実の被害調査
○一般圃場（平田市）

調査月日	調査果数	カメムシ		カキクダアザミウマ		コナカイガラムシ		ハマキムシ	
		被害果数	被害果率(%)	被害果数	被害果率(%)	被害果数	被害果率(%)	被害果数	被害果率(%)
11.16	543	15	2.8	0	0.0	93	17.1	45	8.3

(Ⅲ) クリ

１．病害虫に関する調査結果

１）モモノゴマダラノメイガ

（１）予察灯による成虫の誘殺状況
○県予察圃場（出雲市芦渡町）

月．半旬	本　年	平　年	月．半旬	本　年	平　年
５．１	0	0.0	８．１	0	0.2
2	0	0.0	2	0	0.3
3	0	0.0	3	0	0.0
4	0	0.0	4	2	0.2
5	0	0.0	5	1	0.3
6	0	0.0	6	0	0.0
６．１	0	0.0	９．１	1	0.1
2	0	0.6	2	0	0.0
3	1	0.6	3	0	0.0
4	0	0.0	4	0	0.0
5	2	0.1	5	0	0.0
6	0	0.1	6	0	0.1
７．１	0	0.1	１０．１	0	0.0
2	0	0.3	2	0	0.0
3	0	0.0	3	0	0.0
4	0	0.0	4	0	0.0
5	0	0.0	5	0	0.0
6	0	0.6	6	0	0.0
			合　計	7	3.6

2）クスサン

（1）予察灯による成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表

○県予察圃場（出雲市芦渡町）

月．半旬	本 年	平 年	月．半旬	本 年	平 年	月．半旬	本 年	平 年
８．１	0	0.0	９．１	0	0.2	１０．１	14	11.4
2	0	0.0	2	0	0.9	2	14	8.5
3	0	0.0	3	0	1.5	3	4	2.3
4	0	0.0	4	0	0.9	4	0	0.1
5	0	0.2	5	0	3.3	5	0	0.0
6	0	0.0	6	11	4.0	6	0	0.0
						合 計	43	33.3

Ⅲ）野菜

（Ⅰ）キャベツ

１．病害虫に関する調査結果

１）黒腐病

（１）発病状況調査

①巡回による調査

○調査場所：斐川町

調査月日	作型	調査圃場数	黒　腐　病	
			発生圃場率(%)	発病株率(%)
’17.9.27	夏秋	7	0	0
	冬	15	0	0
12. 5	夏秋	0	0	0
	冬	15	0	0

注）調査株数：50株/圃場。

２）菌核病

（１）発病状況調査

①巡回による調査

○調査場所：斐川町

調査月日	作型	調査圃場数	菌　核　病	
			発生圃場率(%)	発病株率(%)
’17. 9.27	夏秋	7	14.2	0.0
	冬	15	0	0
12. 5	夏秋	0	0	0
	冬	15	0	0

注）調査株数：50株/圃場。

３）モンシロチョウ

（１）発生状況調査

①巡回による調査

ア．夏秋キャベツ

○松江地区

調査年月日	調査圃場数	発生圃場率(%)	寄生株率(%)	10株当り虫数
17. 8. 30	12	16.7	2.5	0.25
17. 9. 25	10	30	2.5	0.25

注）調査株数：10株/圃場(8.30)、20株/圃場(9.25)。

４）コナガ

（１）発生状況調査

モンシロチョウと同時に調査を行った。

①巡回による調査

ア．夏秋キャベツ

○松江地区

調査年月日	調査圃場数	発生圃場率(%)	寄生株率(%)	10株当り虫数
17. 8. 30	12	25	4.2	0.48
17. 9. 25	10	10	1.0	0.12

注）調査株数：10株/圃場(8.30)、10株/圃場(9.25)。

5）ヨトウガ

（1）発生状況調査

モンシロチョウと同時に調査を行った。

①巡回による調査

ア．夏秋キャベツ

○松江地区

調査年月日	調査圃場数	発生圃場率(%)	幼虫寄生株率(%)
17．8．30	12	0	0
17．9．25	10	0	0

注）調査株数：10株/圃場(8.30)、10株/圃場(9.25)。

6）ウワバ類

（1）発生状況調査

モンシロチョウと同時に調査を行った。

①巡回による調査

ア．夏秋キャベツ

○松江地区

調査年月日	調査圃場数	発生圃場率	寄生株率	10株当り虫数			
		(%)	(%)	卵	幼虫	蛹	計
17．8．30	12	40	0.03	0.3	0.1	0	0.4
17．9．25	10	10	0.03	0.12	0.24	0	0.36

注）調査株数：10株/圃場(8.30)、10株/圃場(9.25)。

7）アブラムシ類

（1）黄色水盤による有翅虫の有殺状況

①半旬別誘殺数

イチゴのアブラムシ類の項参照。

（2）発生状況調査

モンシロチョウと同時に調査を行った。

②巡回による調査

ア．夏秋キャベツ

○松江地区

調査年月日	調査圃場数	発生圃場率(%)	寄生株率(%)
17．8．30	12	83.3	20.0
17．9．25	10	100	9.0

注）調査株数：10株/圃場(8.29)、10株/圃場(10.3)。

8）ハスモンヨトウ

（1）フェロモントラップによる雄成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺数

○設置場所：出雲市芦渡町

月．半旬	本 年	*平 年	月．半旬	本 年	*平 年	月．半旬	本 年	*平 年
4． 1	0	0.8	6． 3	66	12.2	8． 5	0	43.2
2	0	0.1	4	12	25.5	6	18	80.1
3	0	0.6	5	1	44.3	9． 1	19	86.9
4	1	0.8	6	4	58.6	2	26	81.6
5	0	0.4	7． 1	5	91.0	3	40	78.0
6	1	0.2	2	29	68.1	4	0	77.6
5． 1	0	0.4	3	25	48.4	5	35	51.2
2	1	1.4	4	7	40.9	6	3	45.0
3	14	2.4	5	6	26.5	１０． 1	28	59.5
4	2	4.8	6	5	27.4	2	19	49.0
5	1	9.5	8． 1	1	22.6	3	9	40.8
6	0	5.3	2	2	28.1	4	16	37.9
6． 1	3	6.1	3	1	43.2	5	7	39.4
2	16	7.3	4	1	40.2	6	11	39.1
						総 計	435	1426.4

注）農技センター屋上設置。*：平成19年～平成28年の平均値

○設置場所：益田市飯田町

月．半旬	本年	*平年	月．半旬	本年	*平年	月．半旬	本年	*平年
５．　１	17	1.9	７．　１	13	76.8	９．　１	10	121.9
２	3	2.78	２	13	52.3	２	100	139.4
３	14	4.5	３	10	31.0	３	200	90.1
４	10	10.8	４	13	37.4	４	245	167.5
５	8	25.3	５	15	33.8	５	231	130.2
６	1	28.2	６	77	33.8	６	138	218.8
６．　１	6	22.3	８．　１	6	22.6	１０．１	240	185.2
２	41	10.1	２	10	40.3	２	115	144.8
３	41	15.9	３	37	65.3	３	145	102.4
４	30	21.0	４	25	61.2	４	135	90.0
５	16	51.5	５	10	105.0	５	81	94.4
６	9	74.0	６	52	175.5	６	30	257.2
注）＊：平成19年～平成28年の平均値						総　計	2147	2745.2

（２）発生状況調査
　モンシロチョウと同時に調査を行った。
①巡回による調査
　ア．夏秋キャベツ
　　○松江地区

調査年月日	調査圃場数	発生圃場率(%)	寄生株率(%)
17．8．30	12	25.0	4.2
17．9．25	10	0.0	0.0

注）調査株数：10株/圃場(8.29)、10株/圃場(10.3)。

9）シロイチモジヨトウ
（１）フェロモントラップによる雄成虫の誘殺状況
①半旬別誘殺数
○設置場所：出雲市芦渡町

月．半旬	本 年	*平 年	月．半旬	本 年	*平 年	月．半旬	本 年	*平 年
４．　１	0	0.0	６．　３	0	0.3	８．　５	9	2.0
２	0	0.0	４	0	0.0	６	12	5.3
３	0	0.0	５	0	0.5	９．　１	1	4.7
４	0	0.0	６	1	0.1	２	11	2.3
５	0	0.0	７．　１	0	0.6	３	32	1.7
６	0	0.0	２	0	0.1	４	0	1.7
５．　１	0	0.0	３	4	0.1	５	22	1.9
２	0	0.0	４	4	0.6	６	2	1.4
３	0	0.0	５	6	0.4	１０．１	10	2.2
４	0	0.0	６	3	0.8	２	2	0.8
５	0	0.8	８．　１	1	0.7	３	3	0.9
６	2	0.4	２	14	1.9	４	3	0.1
６．　１	0	0.0	３	9	1.7	５	0	0.0
２	0	0.1	４	5	1.1	６	0	0.3
注）農技センター屋上設置。＊：平成19年～平成28年の平均値						総　計	156	35.5

○設置場所：益田市飯田町

月．半旬	本年	*平年	月．半旬	本年	*平年	月．半旬	本年	*平年
５．　１	0	0.0	７．　１	3	3.0	９．　１	10	16.3
２	0	0.0	２	1	1.1	２	100	6.3
３	0	0.0	３	3	2.5	３	200	8.6
４	0	0.3	４	9	2.5	４	245	6.1
５	0	0.7	５	0	1.7	５	231	6.5
６	0	0.6	６	0	2.4	６	138	14.6
６．　１	0	0.5	８．　１	6	7.5	１０．１	240	12.4
２	0	0.4	２	10	5.1	２	115	3.6
３	0	0.8	３	37	6.9	３	145	1.7
４	1	0.7	４	25	9.8	４	135	1.3
５	2	2.0	５	10	14.0	５	81	0.4
６	8	2.9	６	52	13.6	６	30	1.3
注）＊：平成19年～平成28年の平均値						総　計	1837	158.1

１０）オオタバコガ

（１）フェロモントラップによる雄成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺数

○設置場所：出雲市芦渡町

月．半旬	本 年	*平 年	月．半旬	本 年	*平 年	月．半旬	本 年	*平 年
４． １	0	0.0	６． ３	0	0.0	８． ５	0	0.1
２	0	0.0	４	0	0.0	６	0	0.2
３	0	0.0	５	0	0.0	９． １	0	0.0
４	0	0.0	６	0	0.0	２	0	1.1
５	0	0.0	７． １	0	0.0	３	1	0.0
６	0	0.0	２	0	0.1	４	0	0.9
５． １	0	0.0	３	0	0.1	５	4	0.6
２	0	0.0	４	0	0.1	６	0	0.1
３	0	0.0	５	0	0.1	１０． １	1	0.0
４	0	0.0	６	0	0.0	２	1	1.4
５	0	0.0	８． １	0	0.1	３	1	0.9
６	0	0.0	２	0	0.0	４	1	0.5
６． １	0	0.1	３	0	0.0	５	0	0.9
２	0	0.0	４	0	0.0	６	0	1.4
注）農技センター屋上設置。＊：平成19年～平成28年の平均値						総 計	9	8.7

○設置場所：益田市飯田町

月．半旬	本年	*平年	月．半旬	本年	*平年	月．半旬	本年	*平年
５． １	0	0.2	７． １	0	0.1	９． １	0	0.2
２	0	0.2	２	0	0.3	２	0	0.0
３	0	0.4	３	0	0.3	３	0	0.1
４	0	0.6	４	0	0.2	４	0	0.0
５	0	0.0	５	0	0.1	５	0	0.8
６	0	0.1	６	0	0.4	６	0	0.6
６． １	0	0.1	８． １	0	0.0	１０． １	15	0.7
２	2	0.0	２	0	0.1	２	3	0.6
３	0	0.0	３	0	0.3	３	0	0.5
４	0	0.0	４	0	0.0	４	0	1.7
５	0	0.1	５	0	0.1	５	1	0.6
６	0	0.6	６	0	0.3	６	0	3.2
注）＊：平成19年～平成28年の平均値						総 計	21	13.5

11）キスジノミハムシ

（１）発生状況調査

モンシロチョウと同時に調査を行った。

①巡回による調査

ア．夏秋キャベツ

○松江地区

調査年月日	調査圃場数	発生圃場率(%)	寄生株率(%)	10株当り成虫数
2017.8.30	12	75.0	15.8	2.4
9.25	10	40.0	28.0	2.8

注）調査株数：10株/圃場。

（Ⅱ）タマネギ

１．病害虫に関する調査結果

１）べと病

（１）発生状況調査

①巡回による調査

調査月日	調査場所	調査圃場数	発生圃場率(%)	調査株数	発病株率(%)
’17. 3.23	斐川町	30	23.3	933,432	0.033
4.21	斐川町	30	20.0	9,000	0.56
5.22	斐川町	25	68.0	7,500	21.9

２）白色疫病、ボトリチス属菌による葉枯症、腐敗病・軟腐病、さび病

（１）発生状況調査

①巡回による調査

調査月日	調査場所	調査圃場数	白色疫病		ﾎﾞﾄﾘﾁｽ属菌による葉枯症		腐敗病･軟腐病	
			発生圃場率(%)	発病株率(%)	発生圃場率(%)	発病株率(%)	発生圃場率(%)	発病株率(%)
’17. 3.23	斐川町	30	40.0	3.7	3.3	0.2	10.0	0.2
4.21	斐川町	30	0.0	0.0	3.3	0.1	30.0	0.6
5.22	斐川町	25	0.0	0.0	12.0	0.1	28.0	1.7

注）調査株数：300株/圃場。さび病の発生はみられなかった。

（Ⅲ）イチゴ

１．病害虫に関する調査結果

１）灰色かび病

（１）発病状況調査

①巡回による調査

調査年月日	調査場所	調査圃場数	発生圃場率(%)	発病株率(%)	調査葉数	発病葉率(%)	調査花梗数	発病花梗率(%)	調査果実数	発病果率(%)
’17.3.31	安来市	10	50	12.0	3710	0.9	2780	0.2	2515	0.4
5. 1	安来市	10	30	8.4	3925	0.5	3060	0.5	2020	0.0
10.31	安来市	6	0	0.0	1105	0.0	640	0.0	220	0.0
12.20	安来市	10	10	4.4	2070	0.3	2565	0.0	2090	0.0
’18.1.31	安来市	10	80	21.6	2905	2.2	2925	0.9	2235	1.1

注）１圃場当り25株調査

２）うどんこ病

（１）発病状況調査

①巡回による調査

調査年月日	調査場所	調査圃場数	発生圃場率(%)	発病株率(%)	調査葉数	発病葉率(%)	調査花梗数	発病花梗率(%)	調査果実数	発病果率(%)
’17.3.31	安来市	10	0.0	0.0	3710	0.0	2780	0.0	2515	0.0
5. 1	安来市	10	10.0	0.8	3925	0.0	3060	0.0	2020	0.1
6.30	安来市	10	20	2.8	1040	0.9				
7.24	安来市	8	0	0.0	580	0.0				
8.28	安来市	9	0	0.0	800	0.0				
9.28	安来市	10	0	0.0	1225	0.0				
10.31	安来市	6	0	0.0	1105	9.1	640	0.0	220	0.0
12.20	安来市	10	30	3.2	2070	0.0	2565	0.0	2090	0.8
’18.1.31	安来市	10	30	2.4	2905	0.0	2925	0.0	2235	0.7

注）１圃場当り25株調査

３）炭疽病

（１）発病状況調査

①巡回による調査

調査年月日	調査場所	調査圃場数	発生圃場率(%)	調査株数	発病株率(%)
’17.6.30	安来市	10	0	5000	0
7.24	安来市	8	25	4000	0.4
8.28	安来市	9	44.4	4500	0.9
9.28	安来市	10	30	5000	0.2
10.31	安来市	6	16.7	3000	0.2

注）１圃場当り500株調査

4）アブラムシ類

（1）黄色水盤による有翅虫の誘殺状況

①半旬別誘殺数

月．半旬	本年	*平年	月．半旬	本年	*平年	月．半旬	本年	*平年
4．1	3	1.0	7．1	10	86.9	１０．1	5	50.4
2	12	1.8	2	1	58.2	2	4	39.6
3	16	1.8	3	0	46.9	3	4	27.2
4	30	5.1	4	0	20.4	4	2	13.6
5	30	7.1	5	3	11.6	5	3	32.1
6	121	12.4	6	0	17.1	6	4	58.2
5．1	175	24.0	8．1	0	18.4			
2	157	23.2	2	4	15.6	総　計	1394	1481.4
3	101	25.2	3	0	12.4			
4	120	33.5	4	20	16.5			
5	106	48.5	5	53	16.4			
6	78	48.9	6	17	22.3			
6．1	100	47.5	9．1	1	21.4			
2	58	55.0	2	11	23.5			
3	14	81.4	3	60	23.5			
4	19	103.0	4	15	51.8			
5	23	69.2	5	3	50.2			
6	7	118.2	6	4	40.4			

注）１黄色水盤：径20㎝、深さ18㎝、ライシメータ上に設置。
　　２調　　査：平成29年4月から10月に1～6日おきに飛び込み有翅虫数を調査した。
　　３　＊　　：平成19年から平成28年までの平均値。

（2）発生状況調査

①巡回による調査

○安来地区

調査年月日	調査圃場数	ワタアブラムシ		ﾁｭｰﾘｯﾌﾟﾋｹﾞﾅｶﾞｱﾌﾞﾗﾑｼ	
		発生圃場率(%)	寄生株率(%)	発生圃場率(%)	寄生株率(%)
17.2.7	10	20	13.0	0	0
17.3.20	10	30	20.0	0	0
17.4.22	10	40	4.0	0	0

注）調査株数：10株(1株3複葉)/圃場。

5）ハダニ類

（1）発生状況調査

アブラムシ類と同時に調査を行った。

①巡回による調査

○安来地区

調査年月日	調査圃場数	カンザワハダニ		ナミハダニ	
		発生圃場率(%)	寄生葉率(%)	発生圃場率(%)	寄生株率(%)
17.2.7	10	0.0	0.0	50	29.7
17.3.20	10	0.0	0.0	88.9	41.1
17.4.22	8	0.0	0.0	87.5	66.3

注）調査株数：10株(1株3複葉)/圃場。

6）アザミウマ類

（1）発生状況調査

アブラムシ類と同時に調査を行った。

①巡回による調査

○安来・出雲地区

調査年月日	調査圃場数	アザミウマ類	
		発生圃場率(%)	寄生株率(%)
17.2.7	10	18.5	10.3
17.3.20	10	20.1	11.8
17.4.22	8	21.2	20.9

注）調査株数：20株(1株3複葉)/圃場(3.30調査)，10株(1株3複葉)/圃場(4.22調査)。

7）コナジラミ類

（1）発生状況調査

アブラムシ類と同時に調査を行った。

①巡回による調査

○安来・出雲地区

調査年月日	調査圃場数	コナジラミ類	
		発生圃場率(%)	寄生株率(%)
17.2.7	10	18.5	10.3
17.3.20	10	20.1	11.8
17.4.22	8	21.2	20.9

注）調査株数：20株(1株3複葉)/圃場(3.30調査)，10株(1株3複葉)/圃場(4.22調査)。

Ⅳ）花卉

（Ⅰ）キク

1．病害虫に関する調査結果

1）白さび病

（1）発病状況調査

①巡回による調査

○調査場所：出雲市

調査年月日	調査圃場数	白さび病	
		発生圃場率(%)	発病葉率(%)
6月28日	4	0	0
10月10日	5	0	0
11月13日	5	0	0
12月12日	4	0	0

2）アザミウマ類

(1) 発生状況調査

①巡回による調査

○調査場所：出雲市

調査年月日	調査圃場数	アザミウマ類	
		発生圃場率(%)	寄生株率(%)
6月28日	4	75	8
7月25日	5	25	5
8月28日	5	25	5
10月10日	5	0	0
11月13日	5	40	2.8
12月12日	4	0	0

3）アブラムシ類

(1) 発生状況調査

①巡回による調査

○調査場所：出雲市

調査年月日	調査圃場数	アブラムシ類	
		発生圃場率(%)	寄生株率(%)
6月28日	4	75	6
7月25日	5	75	10
8月28日	5	100	2.8
10月10日	5	40	2.8
11月13日	5	20	0.8
12月12日	4	0	0

Ⅴ）病害虫発生程度別面積　2017（H.29）

農作物名	作付面積(ha)	病害虫名	程度別発生面積(ha)					防除面積(ha)		備考
			甚	多	中	少	計	実	延	
普通期水稲	17,200	**苗立枯病**	0	0	2	30	32	13,300	13,300	
		苗いもち	0	0	0	20	20	0	0	
		葉いもち	1	4	100	1,200	1,305	12,000	13,000	
		穂いもち	1	4	30	750	785	8,500	10,500	
		紋枯病	5	80	815	7,000	7,900	6,000	7,500	
		白葉枯病	0	0	0	5	5	0	0	
		ばか苗病	0	1	2	17	20	13,200	13,200	
		もみ枯細菌病	0	0	0	8	8	100	100	
		もみ枯細菌病(種子消毒)					－	-13,200	-13,200	
		ごま葉枯病	5	30	200	4,500	4,735	-5,000	-5,000	
		黄化萎縮病	0	0	0	5	5	0	0	
		縞葉枯病	0	0	0	10	10	0	0	
		萎縮病	0	0	0	0	－	0	0	
		稲こうじ病	0	3	17	300	320	500	500	
		ニカメイガI	0	0	0	2,500	2,500	-11,680	-11,680	
		ニカメイガII	0	0	0	1,010	1,010	-10,000	-10,000	
		セジロウンカ	0	0	0	10,550	10,550	-10,000	-10,000	
		トビイロウンカ	0	0	0	7,090	7,090	10,000	10,000	
		ヒメトビウンカ	0	0	0	14,010	14,010	-11,680	-11,680	
		ツマグロヨコバイ	0	0	0	7,440	7,440	-10,000	-10,000	
		イネミギワバエ	0	0	0	1,000	1,000	-11,680	-11,680	
		イネドロオイムシ	0	0	0	60	60	-11,680	-11,680	
		イネゾウムシ	0	0	0	600	600	-11,680	-11,680	
		イネクロカメムシ	0	0	0	150	150	130	130	
		斑点米カメムシ類	0	0	0	14,830	14,830	10,100	10,100	
		イチモンジセセリ	0	0	0	1,000	1,000	0	0	
		フタオビコヤガ	0	0	0	1,000	1,000	0	0	
		イネヨトウ	0	0	0	50	50	0	0	
		アワヨトウ	0	0	0	150	150	0	0	
		コブノメイガ	0	0	0	2,400	2,400	0	0	
		イネミズゾウムシ	0	0	0	9,700	9,700	11,680	11,680	

農作物名	作付面積(ha)	病害虫名	程度別発生面積(ha)					防除面積(ha)		備考
			甚	多	中	少	計	実	延	
麦	628	さび病類	0	0	0	1	1	0	0	
		うどんこ病	0	0	0	0	-	-500	-500	
		赤かび病	0	0	0	2	2	550	1,000	
		黒節病	0	0	0	10	10	0	0	
大豆	823	アブラムシ類	0	0	25	55	80	300	350	
		ハスモンヨトウ	0	5	220	400	625	400	600	
		吸実性カメムシ類	1	10	120	390	521	400	500	
なし	74	黒斑病	5	6	13	36	60	40	520	
		黒星病	0	0	4	27	31	74	518	
		ナシヒメシンクイ	0	0	4	14	18	74	148	
		ナシオオシンクイガ	0	0	0	0	0	0		
		モモシンクイガ	0	0	0	11	11	74	148	
		ハマキムシ類	0	0	13	25	38	74	148	
		ハダニ類	0	15	30	25	70	74	222	
		カメムシ類	0	0	10	30	40	74	222	
		カイガラムシ類	0	0	0	10	10	74	74	
		アブラムシ類	0	0	15	20	35	74	74	
		ニセナシサビダニ	15	20	15	24	74	74	222	
かき	315	炭そ病	0	0	3	20	23	300	1,800	
		うどんこ病	31	27	49	120	227	300	900	
		落葉病類	0	5	10	35	50	300	900	
		カキノヘタムシガ(カキミガ)	0	0	30	70	100	330	660	
		カイガラムシ類	5	20	70	125	220	330	660	
		カメムシ類	5	25	80	90	200	330	990	
		ハマキムシ類	0	10	30	30	70	330	660	
		チャノキイロアザミウマ	15	20	30	45	110	330	660	
		カキクダアザミウマ	0	0	0	50	50	330	660	
夏秋キャベツ	55	黒腐病	0	0	2	9	11	30	50	
		菌核病	0	0	0	8	8	30	50	
		アブラムシ類	0	2	3	15	20	30	50	
		モンシロチョウ	0	0	2	6	8	50	200	
		コナガ	0	0	2	25	27	50	250	
		ヨトウガ	0	0	1	5	6	12	48	
		オオタバコガ	0	0	0	7	7	7	28	
		ハスモンヨトウ	0	0	10	10	20	50	200	

農作物名	作付面積(ha)	病害虫名	程度別発生面積(ha)					防除面積(ha)		備考
			甚	多	中	少	計	実	延	
冬キャベツ	120	黒腐病	0	0	3	12	15	40	60	
		菌核病	0	0	3	12	15	45	90	
		モンシロチョウ					-			
		コナガ	0	0	5	20	25	110	220	
		ハスモンヨトウ	0	1	10	40	51	110	220	
		ヨトウガ	0	1	15	20	36	110	220	
		オオタバコガ	0	0	0	5	5	7	28	
タマネギ	110	白色疫病	0	4	15	25	44	80	320	
		べと病	3	12	20	40	75	110	770	
		さび病	0	0	0	35	35			
		ボトリチス属菌による葉枯れ	0	0	0	35	35			
		ネギアザミウマ	0	0	0	20	20	20	20	
イチゴ	20	灰色かび病	0	0	0	9	9	20	60	
		うどんこ病	0	0	0	7	7	20	80	
		炭疽病	0	0	2	6	8	20	60	
		アブラムシ類	0	1	2	8	11	15	30	
		アザミウマ類	0	0	2	6	8	10	20	
		ハダニ類	1	5	6	4	16	16	64	
きく	9	白さび病	0	0	0	3	3	9	45	
		ハダニ類	1	1	1	1	4	9	45	
		アザミウマ類	0	0	0	2	2	12	72	
		アブラムシ類	0	0	1	2	3	12	72	

Ⅵ)病害虫発生経過の概要及び発生原因の解析(2017・H29年)

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
イネ	いもち病	葉いもち 平年並 穂いもち やや早い	葉いもち 少ない 穂いもち 少ない	６月上旬の置き苗でのいもち病の発生圃場率は0.4%（平年0.4%）と平年並みであった。葉いもちの初発生は６月19日とほぼ平年並みであった。７月下旬の巡回調査（70圃場）における発生圃場率は、2.9%（平年13.7%）、発病株率が0.1%（平年5.4%）と少なかった。県内の一部で多発生圃場も見られたが、全般の発生も少なかった。穂いもちは、初発生が７月27日で平年に比べやや早かった。８月下旬の巡回調査（70圃場）における発生圃場率は0%（平年10.8%）、発病穂率は0%（平年0.4%）で、県下全般の発生量は少なかった。	前年のいもち病の発生が平年並み～やや少なかったことから、育苗期のいもち病の感染もほぼ平年並みあった。アメダス観測15地点におけるBLASTAMによる６月の感染好適日の出現回数は17回（平年31.4回）と少なかった。７月に入っても感染好適日の出現回数は18回（平年29.0回）と少なく、葉いもちの発病が抑制された。また、８月も好天が続き感染好適日の出現回数は４回（平年19.1回）と少なく穂いもちの感染も抑制されたものと考えられる。	常習発生地では育苗箱施薬が行われた。また、発生に応じ薬剤散布が行われた。
	紋枯病	平年並	やや多い	初発生は平年並みの６月16日に認められた。初期の病勢進展は緩慢であったが、７月下旬の巡回調査（70圃場）では、発生圃場率が18.6%（平年18.4%）、発病株率が1.4%（平年3.0%）とほぼ平年並みとなった。その後、発生圃場では出穂後の上位進展が活発となり、全般の発生量はやや多かった。	近年、発生が多く伝染源量が多いと考えられる。６月下旬頃から気温は高めに経過し、降雨もあり発生を助長したものと考えられる。	育苗箱施薬や発生に応じて出穂期までに薬剤散布が行われた。
	縞葉枯病	遅い	やや少ない	初発生は７月中旬に認められ、その後、ゆうれい症状を呈する発病株が一部圃場で認められた。７月下旬の巡回調査（70圃場）における発生圃場率は0%、また、再生稲における発生圃場率（120圃場）も0%とやや少ない発生であった。	ヒメトビウンカの越冬世代～第１世代の発生量はやや多かったが、近年の保毒虫率は低く、本病の発生量はやや少なかったものと考えられる。	これまでに、縞葉枯病が多発生した地域では、箱施薬剤等による媒介虫のヒメトビウンカに対する防除が行われた。
	セジロウンカ	遅い	やや少ない	予察灯での初飛来は平年と比べ遅く、その後の飛来量も平年と比べやや少なく経過した。現地圃場の成幼虫の発生は７月中旬に50株当り虫数が15.0頭（平年70.6頭）、発生圃場率が50.0%（平年72.6%）と平年に比べやや少ない。８月上旬に4.0頭（平年30.5頭）、発生圃場率が47.7%（平年75.0%）となり、全般の発生量は平年と比べやや少なかった。	飛来時期は遅く、その後の飛来量もやや少なく経過したことから、全般の発生量はやや少ないと考えられる。	大部分の圃場では育苗箱施薬が行われており、長期残効型箱剤の施用面積も拡大している。また、出穂時に穂いもち・ウンカ類の同時防除が行われた。
	トビイロウンカ	やや遅い	平年並	予察灯での初飛来は平年と比べやや遅かったが、その後の飛来量は平年並みであった。圃場での成幼虫の発生は８月上旬は50株当り虫数が0.04頭（平年0.13頭）、発生圃場率が2.3%(平年4.3%）と平年並みであった。８月下旬に50株当り虫数が2.0頭(平年3.4頭)、発生圃場率が41.2%(平年31.2%）と平年並みとなった。全般の発生量は平年並みである。	飛来時期はやや遅かったものの、その後の飛来量は平年並みとなったことから、全般の発生量は平年並みとなったと考えられる。	大部分の圃場では育苗箱施薬が行われており、長期残効型箱剤の施用面積も拡大している。また、出穂時に穂いもち・ウンカ類の同時防除が、収穫時期の遅い圃場では発生に応じて追加防除が行われた。
	斑点米カメムシ類	平年並	やや多い	６月下旬の圃場周辺雑草地でのすくい取り調査では、斑点米カメムシ類合計で発生量は11.7頭/20回振り、(平年7.0頭)で発生量は平年に比べてやや多かった。７月下旬の極早生品種出穂時の調査では、発生量は9.4頭/20回振り（平年6.7頭）で平年に比べやや多く、圃場率89.5%（平年64.7%）で平年と比べやや多かった。全般の発生量は平年と比べやや多く推移した。主な発生種はアカスジカスミカメ、クモヘリカメムシ､ホソハリカメムシであった。	圃場周辺雑草地での発生もやや多く、さらにその後７月以降本田内の発生量もやや多かった。また７～８月の気温が高く推移したことから、全般の発生量はやや多くなったもの考えられる。	発生に応じて穂揃い・乳熟期～糊熟期に薬剤散布が行われた。カメムシ防除を狙った長期残効型箱剤の施用面積も拡大している。
	イネミズゾウムシ	平年並	やや少ない	前年の発生はやや少なく、その後の発生量もやや少なかった。	－	大部分の圃場では育苗箱施薬が行われている。
	コブノメイガ	平年並	平年並	全般の発生量は平年並みであった。	－	大部分の圃場では育苗箱施薬が行われている。

	ツマグロヨコバイ	平年並	平年並	６月下旬の巡回調査では、捕獲数は1.4頭/50株（平年2.7頭）、発生圃場率は15.9%（平年39.5%）で発生量は平年に比べやや少なかった。その後も発生量は平年並みであった。なお、予察灯での初飛来は平年比べて遅く、その後の飛来量は平年並だった。	-	大部分の圃場では育苗箱施薬が行われている。
	ニカメイガ	第一世代 やや早い 第二世代 平年並	第一世代 やや少ない 第二世代 平年並	予察灯への飛来は４月第５半旬に認められ、平年に比べやや早い。第一世代全般の誘殺数は平年並だった。６月下旬の巡回調査では、被害株率は０%（平年5.2%）で発生量は平年と比べてやや少なかった。予察灯での第二世代の全般の誘殺数は平年並となり、７月下旬の圃場での被害株率は平年並みであった。	-	大部分の圃場では育苗箱施薬が行われている。
	ヒメトビウンカ	平年並	やや多い	４月中旬の耕起前水田内の越冬世代成幼虫すくい取り調査では発生圃場率が57.1%（平年17.0%）、捕獲数が1.6頭（平年1.7頭）と平年並だった。６月下旬の調査では発生圃場率が27.3%（平年22.7%）、50株当り虫数が1.2頭（平年0.7頭）と平年と比べやや多かった。	越冬世代成幼虫数が平年並みのものの、その後の発生が平年と比べやや多く推移したため、全般の発生量はやや多くなった。	大部分の圃場では育苗箱施薬が行われている。
	フタオビコヤガ	平年並	平年並	全般の発生量は平年並みであった。	-	大部分の圃場では育苗箱施薬が行われている。
ムギ	さび病	―	少ない	コムギでは赤さび病の発生が一部地域で確認された。 オオムギ小さび病は発生を確認していない。	近年発生が少ないことから、伝染源量が少ないものと考えられる。	本病を対象とした防除は特に行われなかった。
	赤かび病	―	コムギ少ない オオムギ少ない	５月中旬における発生量は発生圃場率が4.93%、発病穂率は0.06%で、平年に比べてオオムギ・コムギともに少なかった。	コムギの出穂期前後に降雨が少なかった。	ムギの種類に応じて出穂期以降、薬剤散布が実施された。
	うどんこ病	―	少ない	オオムギ、コムギとも巡回調査では発生を確認できなかった。	近年発生が少ないことから、伝染源量が少ないものと考えられる。	他の病害との同時防除が行われた。
ダイズ	ハスモンヨトウ	平年並	やや少ない	フェロモントラップによる雄成虫の累積雄殺数は９月下旬までやや少なかった。圃場での幼虫の発生はやや少なかった。1a当りの白変葉の数は一部の圃場では多く見られたが全般では少ない程度であった。発生量は平年よりやや少なかった。	成虫の飛来量が平年に比べやや少なかったため，幼虫の発生量は平年よりもやや少なくなったと考えられる.	発生に応じて薬剤散布が行われた。
ナシ	黒斑病	平年並	やや多い	発生量は７月下旬までは平年並みで推移したが、８月下旬には平年と比べてやや多くなった。	８月上中旬の降水量が平年と比べて多く推移したため発生が助長されたものと考えられる。	袋がけ時期を中心に薬剤散布がよく行われた。以後、収穫期まで薬剤散布が行われた。
	黒星病	平年並	平年並	初発は平年並みの５月上旬に確認した。全般の発生量は平年並みであった。	-	開花期から袋かけ期を中心に薬剤防除が行われた。
	ナシヒメシンクイ	平年並	平年並	フェロモントラップでの越冬世代、第１世代雄成虫の誘殺時期は平年並み。誘殺数はすべての世代で平年並みとなった。果実の被害は全般には平年並みであった。	３月中下旬以降気温が高かったが、越冬世代成虫の発生時期は平年並みとなった。越冬量は平年並みであった。５月以降も６月と９月を除き気温は高く推移したが、定期的に薬剤防除が行われ発生量は平年並みとなったと考えられる。また、本県ではほとんどが有袋栽培のため果実の被害は平年並みとなったと考えられる。	小袋掛け前に他害虫との同時防除が行われた。

	モモシンクイガ	平年並	平年並	フェロモントラップでの越冬世代、第１世代雄成虫の誘殺時期は平年並みであった。誘殺数、果実被害は全般に平年並みであった。	前年の発生は平年並みで、越冬世代成虫の発生量も平年並みと考えられる。春先から気温が高く推移したが、発生時期は平年並みとなった。また、本県ではほとんどが有袋栽培のため果実の被害は平年並みとなったと考えられる。	ナシヒメシンクイ、ハマキムシ類との同時防除が行われた。
	ハマキムシ類	平年並	平年並	フェロモントラップでのチャハマキ、チャノコカクモンハマキ越冬世代の発生時期は、平年並みであった。 チャハマキ、チャノコカクモンハマキの発生量は平年並み、幼虫による被害も平年並みとなった。	３月は気温が高かったものの、越冬世代の発生時期は平年並みとなった。その後、気温は高く発生量は平年並みからやや多く推移した。６月と９月を除き気温は高く推移したが６月以降定期的に薬剤防除が行われ、全体の発生量は平年並みとなったと考えられる。	他害虫との同時防除が行われた。
	ハダニ類	平年並	平年並	４月下旬の発生量は花叢への寄生率は平年並みとなったが、８月に発生量は増加した。その後の発生量は平年並みとなった。全般の発生量は平年並みであった。	カンザワハダニの越冬量はやや少なく、４月下旬にクワオオハダニの花叢への寄生がみられたが、平年並みとなった。その後、５月から６月にかけて降雨が少なかったため、７月に発生量が一時的に増加した。しかし、８月上旬に防除効果の高い薬剤が散布されたためその後の発生は抑制されたと考えられる。８月下旬から９月上旬にかけ降水量も多く発生はやや少なくなった。このため、全体の発生量は平年並みで推移したと考えられる。	５月下旬～６月、７月上旬、８月上中旬を中心に薬剤散布が行われた。
	クワコナカイガラムシ	－	やや少ない	全般の発生量はやや少なかった。	－	防虫果袋が使用された。
	アブラムシ類	平年並	平年並	越冬成虫の発生時期は平年並みとなった。５月上旬の新梢への寄生程度は平年並みとなった。全体を通して発生時期、発生量は平年並みで推移した。	４月から気温が高く推移したが、発生時期は平年並みとなった。その後も６月から９月を除き、気温は高く推移したが、定期的に薬剤による防除が行われ、発生量は平年並みに推移したものと考えられる。	５～６月に薬剤散布が行われた。
カキ	炭疽病	平年並	平年並	一部多発園も見られたが、全般の発生量は平年並みであった。	前年の発生がやや多く越冬伝染源量が多いと考えられたが、炭疽病を主体とした防除体系が行われたため、発生量が平年並みとなったと考えられる。	梅雨時期と８月下旬～９月を中心に薬剤散布が行われた。
	うどんこ病	平年並	多い	発生量は８月下旬までは平年並みで推移したが、９月下旬以降は平年と比べて多くなった。	９月上中旬の降雨が多く推移したことが秋期発病を助長したと考えられる。	８月下旬～９月を中心に薬剤散布が行われた。
	円星落葉病	平年並	平年並	一部多発園も見られたが、全般の発生量は平年並みであった。	近年、発生量が少ない傾向が続いているため、越冬菌量が少なかったことと、薬剤防除が徹底されたためと考えられる。	５月～７月に薬剤散布が行われた。
	カキミガ	平年並	平年並	果実での発生量、被害とも平年並みであった。	防除効果の高い薬剤が適期に散布されたためと考えられる。	各世代発生期に薬剤散布が行われた。
	カメムシ類	平年並	やや多い	フェロモントラップでは４月26日から、予察灯では5月14日から誘殺された。その後、８月に入り誘殺数が増加した。８月から９月にかけて被害が増加した。	昨年はヒノキ毬果が平年並みでカメムシの越冬量は平年並みと考えられた。本年はヒノキの花粉飛散量から毬果は平年並みと考えられ、圃場への飛来時期は平年並み、飛来量はやや多いと考えられる。８月は気温が高く、被害果が増加した。８月上旬から９月上旬まで定期的に防除を行ったため被害は平年並み。	各世代発生期に薬剤散布が行われた。

	カキクダアザミウマ	平年並	平年並	５月12日に被害捲葉の発生を認めた。発生量は平年並みであった。第１世代成虫は６月第５半旬から粘着トラップに誘殺され、誘殺数は平年並みであった。果実被害は７月中旬からみられたが、被害量は平年並みであった。	越冬成虫の飛来量が平年並みであったこと、成虫飛来時期の薬剤散布と被害捲葉の除去などの防除対策により、果実被害の発生量は平年並みとなったと考えられる。	越冬成虫飛来期の薬剤散布と捲葉の切除が行われた。
夏秋キャベツ	黒腐病	平年並	平年並	県内各地で発生が認められたが、全般の発生量は平年並みであった。	－	薬剤による防除が行われた。
	菌核病	平年並	平年並	県内各地で発生が認められたが、全般の発生量は平年並みであった。	－	薬剤による防除が行われた。
	コナガ	－	やや少ない	幼虫の発生量は全般に平年に比べてやや少なかった。	－	定植時の粒剤施用または灌注（土壌またはセルトレイ）と、その後は他のチョウ目害虫との同時防除が行われた。
	ハスモンヨトウ		やや少ない	フェロモントラップによる雄成虫の累積雄殺数は９月下旬までやや少なかった。圃場での幼虫の発生は少なかった。発生量は平年よりやや少なかった。	成虫の飛来量が平年に比べやや少なかったため，幼虫の発生量は平年よりもやや少なくなったと考えられる。	定植時の粒剤施用または灌注（土壌またはセルトレイ）と、その後は他のチョウ目害虫との同時防除が行われた。
冬キャベツ	黒腐病	平年並	平年並	県内各地で発生が認められたが、全般の発生量は平年並みであった。	－	薬剤による防除が行われた。
	菌核病	平年並	平年並	県内各地で発生が認められたが、全般の発生量は平年並みであった。	－	薬剤による防除が行われた。
	コナガ	－	やや少ない	幼虫の発生量は全般に平年に比べやや多かった。寄生株率は1.0%(平年2.33%)とやや少なかった。	－	定植時の粒剤施用または灌注（土壌またはセルトレイ）と、その後は他のチョウ目害虫との同時防除が行われた。
	ハスモンヨトウ	－	やや少ない	フェロモントラップによる雄成虫の累積誘殺数は平年よりもやや少なかった。圃場での幼虫の発生は平年より早い8月末から見られたが，９月下旬の寄生株率は０％（平年3.5%）であった。全般の発生量はやや少なかった。	成虫の飛来量が平年に比べやや少なかったため，幼虫の発生量は平年よりもやや少なくなったと考えられる.	定植時の粒剤施用または灌注（土壌またはセルトレイ）と、その後は他のチョウ目害虫との同時防除が行われた。
タマネギ	白色疫病	やや早い	多い	３月下旬における発生圃場率は40.0%（平年29.9%）、発病株率は3.7%（平年1.0%）と過去10年で最も多かった。	１月上旬の積雪によって植物体の抵抗力が弱り、雪解けの水によって感染が拡がり発生量が多くなったと考えられる。	発生に応じて薬剤散布が行われた。
	べと病	平年並	やや多い	３月下旬における越年罹病株の発生量は3.3株/１万株（平年6.6株/１万株）、発生圃場率は23.3%（平年28.7%）と平年並みであった。その後、二次感染株の発生が県内各地で認められ、５月下旬における発生圃場率は68.0%（平年47.3%）、発病株率は21.9%（平年11.3%）と過去10年で３番目に多い発生となった。	４月下旬から５月上旬の降水量が多く、気温が高く推移したため二次感染により発生量が多くなったと考えられる。	越年罹病株の抜き取りや発生に応じた薬剤散布が行われた。

イチゴ	灰色かび病	平年並	平年並	県内各地で発生が認められたが、全般の発生量は平年並みであった。	－	薬剤による防除が行われた。
	うどんこ病	平年並	平年並	県内各地で発生が認められたが、全般の発生量は平年並みであった。	－	薬剤による防除が行われた。
	炭疽病	平年並	平年並	県内各地で発生が認められたが、全般の発生量は平年並みであった。一部多発圃場が認められた。	－	薬剤による防除が行われた。
	アブラムシ類	－	やや少ない	促成、半促成栽培における全般の発生量は14.3%(平年22%)と平年に比べてやや少なかったが、一部圃場ではやや多かった。	－	発生に応じて薬剤散布が行われた。
	ハダニ類	－	多い	促成、半促成栽培における圃場での発生量は100%(平年50.7%)、寄生株率は56%(平年16%)と多かった。	－	発生に応じて薬剤散布が行われた。

Ⅶ）情報の提供、諸報告に関する事項

１．情報の提供方法及び提供先

１）郵送（＊印は注意報のみ）

○国関係

＊農林水産省 消費･安全局植物防疫課、＊同中国四国農政局 消費･安全部 安全管理課植物防疫係、気象庁松江地方気象台。

○国立研究開発法人

農業･食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター、同果樹茶業研究部門、同ブドウ･カキ研究拠点、同西日本農業研究センター。

○他県関係

＊鳥取、＊岡山、＊広島、＊山口、＊徳島、＊香川、＊愛媛、＊高知、各県担当課。

○県内関係

農業技術センター、島根県立松江農林高等学校、同出雲農林高等学校、同邇摩高等学校、同矢上高等学校、同益田翔陽高等学校、同図書館。

○県内団体

島根県農業協同組合、農業振興協会。

○報道機関

朝日、山陰中央、サンケイ、島根日日、中国、毎日、読売 各新聞社出雲支局（出雲市役所記者室）、ＮＨＫ松江放送局、同出雲通信部、山陰放送、同ラジオ総局、山陰中央テレビ放送局、同出雲通信部、日本海テレビ、同出雲通信部。

２）ＦＡＸ

○県内関係

中山間地域研究センター。

○報道機関

日本農業新聞松江支局、同中国四国支所、出雲ケーブルテレビジョン、石見ケーブルテレビ。

３）メール

島根県農林水産部 農業経営課、同農産園芸課、東部農林振興センター、西部農林振興センター、各農業普及部（松江、浜田、安来、雲南、出雲、県央、大田、益田）、隠岐支庁農林局 農業振興グループ、同島前地域振興グループ、農林大学校、各市町村、全国農業協同組合連合会中四国営農資材事業所、各農業共済組合、島根県農薬卸商協会、各病害虫防除員。

４）ホームページ

発生予察情報（発生予報、特殊報、注意報、臨時情報）。

２．発表状況

（１）発生予察情報の発表状況

種　類	発表回数	発表部数	対　象　病　害　虫
発生予報	８回	２００部	○イネ 葉いもち２回、穂いもち３回、紋枯病４回、白葉枯病３回、縞葉枯病２回、萎縮病１回、黄化萎縮病１回、ヒメトビウンカ４回、ニカメイチュウ５回、ツマグロヨコバイ４回、イネミズゾウムシ３回、セジロウンカ４回、トビイロウンカ４回、コブノメイガ３回、斑点米カメムシ類４回。 ○ムギ うどんこ病２回、赤かび病２回、さび病類２回。 ○ダイズ ハスモンヨトウ１回。 ○ナシ 黒斑病７回、黒星病４回、シンクイムシ類６回、ハマキムシ類３回、ハダニ類７回、アブラムシ類２回、カメムシ類２回。 ○カキ 円星落葉病１回、うどんこ病３回、灰色かび病１回、カキミガ３回、チャノキイロアザミウマ１回、カメムシ類３回、カキクダアザミウマ２回。

種　類	発表回数	発表部数	対　象　病　害　虫
			○果樹全般 カメムシ類２回。 ○キャベツ 黒腐病１回、菌核病１回。 ○アブラナ科野菜 アブラムシ類１回、コナガ２回、アオムシ１回、ハスモンヨトウ２回。 ○タマネギ ボトリチス属菌による葉枯れ３回、べと病３回、腐敗病・軟腐病３回、白色疫病１回。 ○イチゴ 灰色かび病２回、うどんこ病２回、アブラムシ類２回、ハダニ類２回。
注 意 報	１ 回	２００部	○カキ、ナシ、スモモ：果樹カメムシ類　１回
技術資料	４ 回	２００部	○水稲：QoI剤耐性イネいもち病　１回 ○イチゴ：ハダニ類　１回 ○タマネギ：べと病の越年罹病株　１回 ○イネ科作物：アワヨトウ　１回

３．発表内容

１）注意報

（１）第１号（平成２９年９月　４日）　カキ、ナシ、スモモ：果樹カメムシ類

２）技術資料

（１）第１号（平成２９年４月　３日）　水稲：QoI剤耐性イネいもち病
（２）第２号（平成２９年４月　３日）　イチゴ：ハダニ類
（３）第３号（平成２９年４月　３日）　タマネギ：べと病の越年罹病株
（４）第４号（平成２９年６月２９日）　イネ科作物：アワヨトウ

【問い合わせ先】
島根県病害虫防除所［担当：澤村・奈良井］
ＴＥＬ：０８５３－２２－６７７２
ＦＡＸ：０８５３－２４－３３４２

平成２９年度病害虫発生予察情報　注意報第１号

平成29年９月４日
島　　根　　県

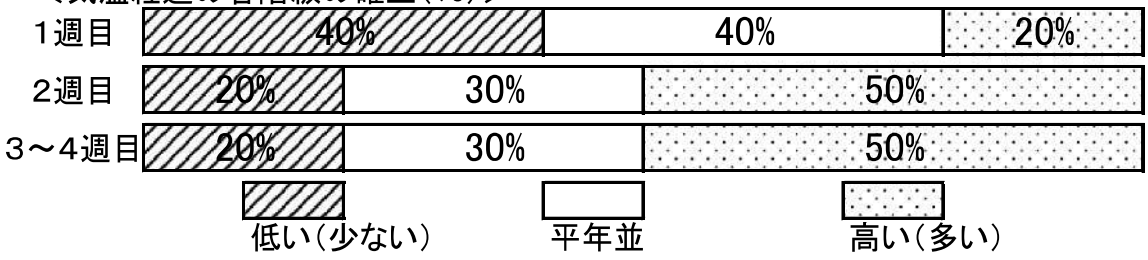
果樹を加害するカメムシ類の発生量が多く、カキ、ナシなどで被害が多発生する恐れがありますので注意報を発表します。現地では発生状況の把握に努めるとともに、発生園では適切な防除対策を講ずるよう指導をお願いします。

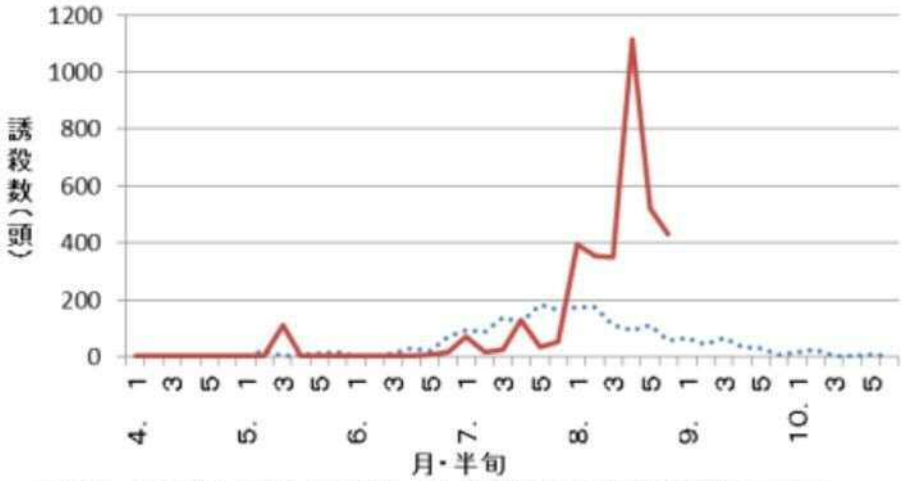
記

１．病害虫名　　果樹カメムシ類
２．発生地域　　県内カキ、ナシ、スモモ栽培地帯
３．発生時期　　９月上旬～
４．発 生 量　　多い
５．注意報発表の根拠
１）予察灯（出雲市）でのチャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシの誘殺数は平年に比べ多く推移している。８月の予察灯での３種カメムシ類の累積誘殺数は3164頭（平年値714.1頭）と多く誘殺された（第１図）。
２）予察灯における３種カメムシ類の誘殺数はチャバネアオカメムシ1704頭（平年値411.5頭）、クサギカメムシ879頭（平年値216.1頭）、ツヤアオカメムシ581頭（86.5頭）とクサギカメムシ、ツヤアオカメムシの割合が高い（第２図）。
３）８月下旬の巡回調査ではカキでの被害果率は4.2%（平年値5.6%）と平年並みであるが、今後カキや無袋栽培のナシなどで被害が発生する恐れがある。なお、有袋栽培のナシでも果実の肥大にともない果実袋を通して加害される恐れがある。
４）９月の気象は第２週から４週までの気温が高く被害が長引く恐れがある。
５）カキ、ナシ（無袋）の摘果作業はほぼ終わっている。

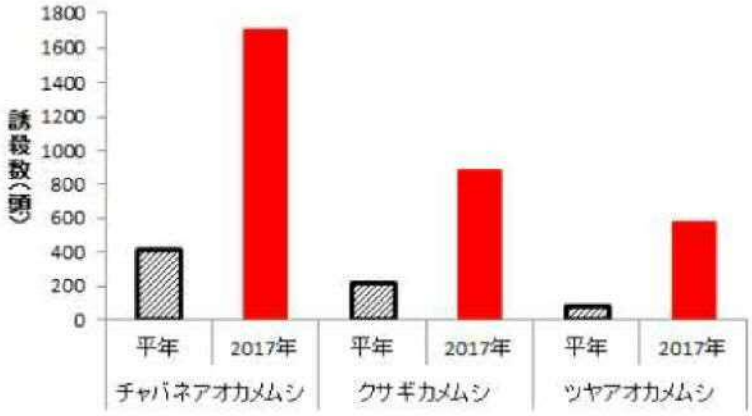
６．防除対策および防除上の注意事項
１）山間地や山沿いの園ではカメムシ類の発生加害が多いので特に注意する。
２）薬剤の使用にあたっては、農薬使用基準ならびに本県農作物病害虫雑草防除指針を遵守する。

＜気温経過の各階級の確立（%）＞





第1図　予察灯における果樹カメムシ類3種の誘殺消長(2017年)



第2図　果樹カメムシ類3種の種別誘殺数(8月)

７．薬剤による防除

１）種類および濃度使用基準（平成29年8月31日現在）

薬　剤　名	カ　　キ		ナ　　シ	
アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	3日前／3回	2,000倍	前日／3回
アグロスリン水和剤	1,000～2,000倍	前日／3回	1,000～2,000倍	前日／3回
アドマイヤー顆粒水和剤	5,000～10,000倍	7日前／3回	5,000～10,000倍	3日前／2回
アディオン乳剤	2,000～3,000倍	7日前／5回	2,000倍	前日／2回
ジノテフラン顆粒水溶剤	2,000倍	前日／3回	2,000倍	前日／3回
スカウトフロアブル	1,500倍	7日前／5回	1,500倍	前日／5回
ダントツ水溶剤	2,000～4,000倍	7日前／3回	2,000～4,000倍	前日／3回
テルスター水和剤	1,000～2,000倍	14日前／2回	1,000～2,000倍	前日／2回
MR.ジョーカー水和剤	2,000倍	14日前／2回	2,000倍	14日前／2回

薬　剤　名	スモモ	
ダントツ水溶剤	2,000～4,000倍	3日前／3回
ジノテフラン水溶剤(顆粒)	2,000倍	前日／3回

２）散布時期および回数

発生に応じて数回散布する。

３）散布量：10ａ当たり　液剤200～700ﾘｯﾄﾙ

【問い合わせ先】
島根県病害虫防除所［担当：藤原・奈良井］
ＴＥＬ：０８５３－２２－６９０５
ＦＡＸ：０８５３－２４－３３４２

平成２９年度　病害虫発生予察情報　技術資料第１号

平成２９年４月３日
島根県病害虫防除所

QoI 剤耐性イネいもち病菌の発生状況について

イネいもち病の防除薬剤であるストロビルリン系殺菌剤(以下､QoI 剤)の耐性菌の発生状況について、平成 17 年以降、県内各地からいもち病の罹病標本を採取し検定を実施しています。平成 28 年の県内の発生状況と対策は下記のとおりです。

記

１．QoI 剤耐性菌の発生状況

１）平成 17 年～平成 23 年
耐性菌の発生を認めていない。

２）平成 24 年～平成 27 年
耐性菌の発生を確認した。結果は表１のとおり。

３）平成 28 年
穂いもちを 103 ほ場から採取した。単胞子分離した 103 菌株（1 ほ場 1 菌株）を検定した結果、県西部の 9 ほ場（8.7%）で耐性菌の発生を確認した（表１）。

表１　QoI剤耐性菌の発生状況

調査年	調査ほ場数	耐性菌発生ほ場数	耐性菌発生ほ場率(%)
平成24年	73	3	4.1
平成25年	112	13	11.6
平成26年	126	13	10.3
平成27年	140	20	14.3
平成28年	103	9	8.7

２．防除対策

１）引き続きQoI剤の育苗箱処理剤は使用しない。

２）QoI剤の本田散布剤は、他系統の育苗箱処理剤との体系防除で使用する。
ただし、既発生地域の使用と未発生地域での多発生時の使用は避ける。

３）引き続き採種圃場およびその周辺圃場ではQoI剤を使用しない。

４）耕種的な防除対策（種子更新、塩水選、種子消毒の実施等）を徹底する。

【参考】

表２　イネいもち病に登録のあるQoI剤

系統名	成分名	主な商品名
ストロビルリン系（QoI剤）	オリサストロビン	嵐粒剤、嵐ダントツ箱粒剤、嵐キラップ粒剤
	メトミノストロビン	オリブライト250g、オリブライト1キロ粒剤、イモチエース粒剤、イモチエースキラップ粒剤
	アゾキシストロビン	アミスターエイト、アミスタープリンス粒剤

※島根県農薬情報検索システムに掲載の薬剤から抜粋

表３　イネいもち病に登録のあるQoI剤以外の主な薬剤

系統名	成分名	主な商品名
抵抗性誘導	イソチアニル	ルーチン、スタウト、ツインターボ、フルターボ
	プロベナゾール	Dr.オリゼ、オリゼメート、ファーストオリゼ、ビルダー
	チアジニル	ブイゲット、アプライ
MBI-R	トリシクラゾール	ビーム
	ピロキロン	コラトップ、デジタルコラトップ
MBI-P	トルプロカルブ	サンブラス、ゴウケツ
MBI-R・その他	トリシクラゾール・フェリムゾン	ノンブラス
	フサライド・フェリムゾン	ブラシン
抗生物質	カスガマイシン	カスミン
その他	イソプロチオラン	フジワン
	テブフロキン	トライ

※MBI-R、MBI-Pはメラニン生合成阻害

【問い合わせ先】
島根県病害虫防除所［担当：山本・奈良井］
ＴＥＬ：０８５３－２２－６７７２
ＦＡＸ：０８５３－２４－３３４２

平成２９年度　病害虫発生予察情報　技術資料第２号

平成２９年４月３日
島根県病害虫防除所

イチゴにおけるハダニ類の発生状況について

現在、イチゴのハダニ類の発生がほ場毎に大きく異なっており、発生量の多いほ場と少ないほ場が混在しています。現地では発生状況の把握に努めるとともに、薬剤散布など適切な防除対策をお願いします。

１．現在の発生状況

１）平成29年３月下旬の巡回調査における発生はほ場毎に大きく異なった。発生ほ場率は100％（平年50.7％）、寄生株率は56％（平年16％）と全般に発生量は多かったが、ほとんど発生がないほ場も認められた。

２）１ヶ月予報（３月30日広島地方気象台発表）によると、向こう１か月の気温は低い確率が40％であるが、ハダニ類の発生には十分に注意が必要である。

２．防除対策および防除上の注意事項

１）薬剤散布を行う場合は、事前に葉かきを行い、葉裏に薬液が付着するよう十分な液量を丁寧に散布する。

２）取り除いた葉をほ場内に放置すると葉に寄生していたハダニ類が他の株に移動するため、取り除いた葉は必ず施設外に持ち出し、袋に入れるか埋設、焼却するなど適切に処分する。

３）薬剤の選定に当たってはミツバチ等訪花昆虫への影響を充分に考慮する。

４）薬剤の使用に当たっては、農薬ラベルに記載の使用方法・注意事項を確認のうえ使用する。また、薬剤散布は周辺作物への飛散に十分注意する。

左：寄生状況（カンザワ）、右上：ナミハダニ雌成虫（体長約0.4mm）、右下：カンザワハダニ雌成虫（体長約0.4mm）

５）表１に示した薬剤は防除効果の低下が見られる場合があり、薬剤散布後はルーペ等を用い、必ず効果の確認を行う。防除効果が不十分な場合は表１に記載した別のIRACコードの薬剤を使用するか、表２の気門封鎖剤を使用する。

３．薬剤防除（農薬登録内容は平成29年4月1日現在）

使用の際は同一系統（IRACコード）の薬剤の連用は避ける。

表１　イチゴのハダニ類に使用できる主な薬剤

系統 ※ IRACｺｰﾄﾞ	薬剤名	希釈倍率	使用時期	使用回数
3A	ロディー乳剤	1000～2000倍	収穫前日まで	3回以内
6	アファーム乳剤	2000倍	収穫前日まで	2回以内
6	コロマイト水和剤	2000倍	収穫前日まで	2回以内
10A	ニッソラン水和剤	2000～3000倍	収穫前日まで	2回以内
10B	バロックフロアブル	2000倍	収穫前日まで	1回
12D	テデオン乳剤	500～1000倍	収穫3日前まで	2回以内
20B	カネマイトフロアブル	1000～1500倍	収穫前日まで	1回
20D	マイトコーネフロアブル	1000倍	収穫前日まで	2回以内
21A	サンマイトフロアブル	1000～1500倍	収穫3日前まで	1回
25A	スターマイトフロアブル	2000倍	収穫前日まで	2回以内
25A	ダニサラバフロアブル	1000倍	収穫前日まで	2回以内
25B,21A	ダブルフェースフロアブル	2000倍	収穫前日まで	1回

※IRACコードとは殺虫剤を作用機構別に分類してつけられたもので、同じIRACコードの薬剤を連用すると殺虫剤抵抗性の発生リスクが高まるので、薬剤選択の際は注意する。なお、IRACコードについては農薬工業会ホームページで最新の情報が確認できる。

農薬工業会ホームページ http://www.jcpa.or.jp/labo/mechanism.html

表２　イチゴのハダニ類に使用できる主な気門封鎖剤

薬剤名	希釈倍率	使用時期	使用回数
粘着くん液剤	100倍	収穫前日まで	－
サンクリスタル乳剤	300～600倍	収穫前日まで	－
フーモン	1000倍	収穫前日まで	－
※1還元澱粉糖化物液剤	100倍	収穫前日まで	－

※1薬剤名は一般名であり該当薬剤は複数あることから使用に当たっては登録内容をよく確認する。

※2気門封鎖剤は薬剤抵抗性の発生リスクが低く、使用回数に制限がないため連用できる。しかし、ハダニ類に直接十分量が付着しないと防除効果がないため、丁寧に散布する必要がある。また、殺卵効果や残効性もないため、3～７日間隔で複数回散布する。なお、薬害の発生を避けるため、高温時や薬液が乾きにくい夕方の散布は控える。

【問い合わせ先】
島根県病害虫防除所［担当：福間・奈良井］
ＴＥＬ：０８５３－２２－６９０５
ＦＡＸ：０８５３－２４－３３４２

平成２９年度　病害虫発生予察情報　技術資料第３号

平成２９年４月３日
島根県病害虫防除所

タマネギべと病の越年罹病株（えつねんりびょうかぶ）の発生状況について

タマネギべと病の越年罹病株が県内各地で認められ、発病株率の極めて高いほ場も確認されています。今後、本病の多発が懸念されます。

現地では発生状況を把握し、発病株の抜き取り、薬剤散布など防除対策の徹底をお願いします。

１．発生状況と今後の予想

１）３月下旬の巡回調査では、越年罹病株の発生ほ場率が23.3%（平年28.7%）、１万株当たりの同発病株数は3.3株（平年6.6株）と平年並みであったが（図１）、多発生ほ場も認められた。

２）中国地方１ヶ月予報（４月１日～４月30日、広島地方気象台３月30日発表）によると向こう１か月の気温は低い確率が40%であるため、本病の本病の発生を特に助長する要因とはならないと考えられる。

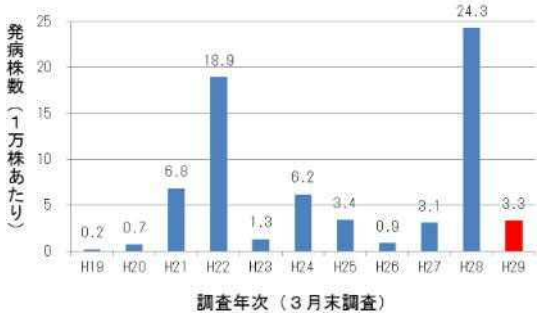


図１　過去10年のタマネギべと病越年罹病株の発生状況

２．防除対策および防除上の注意事項

１）越年罹病株は継続的に胞子を形成し、重大な伝染源となるため、抜き取ってほ場外へ持ち出し適切に処分する。

２）越年罹病株、又は発病株が認められた場合には、感染拡大防止のため、直ちに薬剤による防除を行う。

３．本県における過去のタマネギべと病の注意報発表状況（警報の発表はなし）

発表年月日	発表時の状況
平成22年4月 5日	越年罹病株発生ほ場率73.3%、越年罹病株発病株率18.9株/1万株
25年5月 2日	発生ほ場率53.3%、発病株率7.9%
27年4月 2日	越年罹病株発生ほ場率44.8%、越年罹病株発病株率3.1株/1万株
28年3月30日	越年罹病株発生ほ場率53.3%、越年罹病株発病株率24.3株/1万株

【越年罹病株の特徴】

葉の光沢がなくなり淡黄緑色になり、生育も遅れ、葉は湾曲する（写真１）

写真１　タマネギベと病越年罹病株（赤枠内の株）

【問い合わせ先】
島根県病害虫防除所［担当：角・奈良井］
TEL：0853-22-6772　FAX：0853-24-3342

平成 29 年度　病害虫発生予察情報　技術資料第４号

平成 29 年 6 月 29 日
島根県病害虫防除所

アワヨトウの発生について

６月２６日に、隠岐の島町のイネ科牧草が隣接する水田でアワヨトウ幼虫の加害が確認されました。イネ科牧草で多発生した幼虫が水田に侵入したと考えられます。また同日益田市で、また２７日に大田市、２８日に出雲市でもイネ科牧草地から移動している幼虫が確認されています。

今後、イネ科作物（稲、とうもろこし、イネ科牧草、はとむぎなど）ではアワヨトウの発生が懸念されますので、十分注意してください。

図１アワヨトウ幼虫頭部の八の字形の斑紋
（黒化型幼虫）

【発生生態】

１．若齢幼虫の体色は淡黄緑色、成長するにつれて灰緑から黒緑色まで体色変異があるが体側に明瞭なタテスジが通り、頭部はミカン色で黒い八の字形の斑紋がある（図１）。老熟幼虫の体長は 45mm ぐらいになる。幼虫期間は約１か月。
老熟幼虫は加害株の株元や浅い土中で蛹化する。蛹期間は 10 日～14 日。

２．出穂期前後の水稲に発生した際は、葉鞘内側と茎の間に卵を産み、被害も最初は独立して現われ、幼虫の齢期も不ぞろいのことが多い。

３．多発生した場合集団で水田に侵入することがある（図２）。主にイネ科牧草、とうもろこし等のイネ科作物に被害を及ぼすが、その他にも河川敷、道路の法面、果樹園の下草、雑草地などのイネ科雑草やゴルフ場の芝類でも発生する。

図２　水田加害状況（左）、拡大（右）
畦ぎわから侵入、加害している。
（平成 21 年　隠岐の島町）

【防除の留意点】

1．若齢幼虫期には薬剤の効果が高い。中齢以降は日中に地際にいることが多くなり薬剤が届きにくく効果が劣る。
2．幼虫のステージが不ぞろいのときは、7 日おき 2 回散布する。株元に十分かかるように散布する。
3．アワヨトウに登録がある農薬を表１に示す。なお、薬剤散布に当たっては農薬の使用基準を遵守するほか、必ず最新の登録内容を確認する。
4．水田へのアワヨトウ幼虫の侵入は、深水管理にすることで水田内の移動を制限できる。

【表１】アワヨトウに登録されている農薬

作物名	農薬名	希釈倍率 （散布液量）	使用時期	本剤の使用回数
とうもろこし ※	トレボン乳剤	1000 倍 （100～300ℓ/10a）	収穫7日前まで	4 回以内
	アグロスリン乳剤	1000 倍 （100～300ℓ/10a）	収穫7日前まで	3 回以内
イネ科牧草	スミチオン乳剤	1000 倍 （100～300ℓ/10a）	収穫 14 日前まで	2 回以内

※飼料用とうもろこしは含まない。

Ⅷ）気象表（平成29年）

観測地点：出雲市芦渡町２４４０（海抜２０ｍ）

月	半旬	平均気温		最高気温		最低気温		降水量		日照時数	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
	1	9.2	5.4	12.1	9.1	5.0	1.7	1.5	19.1	11.4	9.7
1	2	6.5	5.0	10.1	8.6	2.3	1.4	18.5	20.3	13.6	9.1
	3	4.1	4.8	6.9	8.3	1.7	1.2	23.5	21.0	6.8	9.0
	4	3.7	4.5	8.3	8.0	-0.6	0.9	28.0	20.5	12.3	8.9
月	5	2.4	4.2	5.6	7.7	0.0	0.7	34.0	18.9	10.1	8.6
	6	4.7	4.0	10.0	7.6	-0.9	0.5	31.5	20.2	20.1	11.6
合計,平均		5.1	4.7	8.8	8.2	1.3	1.1	22.8	20.0	12.4	9.5
	1	6.3	4.2	10.8	7.9	0.9	0.4	19.5	15.3	20.6	11.5
2	2	3.8	4.6	6.9	8.5	0.2	0.6	50.0	15.2	11.0	12.8
	3	2.7	4.9	6.3	9.0	-1.1	0.7	23.5	16.8	16.1	13.7
	4	8.6	4.9	12.6	9.2	3.9	0.7	61.5	18.7	16.5	14.9
月	5	5.7	5.1	9.8	9.4	0.9	0.7	19.5	20.0	12.6	16.1
	6	4.7	5.4	10.9	9.8	-1.6	0.9	1.5	12.3	22.4	10.2
合計,平均		5.3	4.9	9.6	9.0	0.5	0.7	29.3	16.4	16.5	13.2
	1	6.4	5.8	12.2	10.3	0.2	1.2	8.5	20.3	24.1	18.1
3	2	6.0	6.4	8.8	11.1	2.1	1.6	5.0	18.9	12.3	20.0
	3	6.8	7.2	12.1	12.0	1.9	2.0	2.5	18.6	25.4	22.1
	4	7.0	7.8	14.0	12.7	-0.2	2.5	3.0	19.6	40.7	23.4
月	5	7.4	8.3	12.5	13.3	2.5	2.9	14.0	20.5	34.8	23.5
	6	8.4	9.0	13.1	14.0	3.8	3.5	19.5	24.0	29.5	29.5
合計,平均		7.0	7.4	12.1	12.2	1.7	2.3	8.8	20.3	27.8	22.8
	1	10.3	10.0	16.5	15.3	3.0	4.2	0.0	18.9	42.6	27.6
4	2	14.8	11.1	18.1	16.4	11.8	5.2	10.5	18.9	6.6	29.3
	3	13.8	12.0	18.0	17.4	7.7	6.2	30.0	19.0	36.0	29.8
	4	15.0	12.9	20.1	18.3	9.5	7.1	49.5	18.4	34.3	30.5
月	5	14.5	13.8	21.1	19.3	7.7	7.9	2.0	17.6	49.9	31.7
	6	15.7	14.7	20.1	20.2	7.9	8.7	13.5	18.3	45.1	33.1
合計,平均		14.0	12.4	19.0	17.8	7.9	6.6	17.6	18.5	35.8	30.3
	1	17.6	15.6	24.6	21.1	10.2	9.7	0.0	20.8	44.9	33.2
5	2	17.9	16.2	22.4	21.6	13.0	10.5	18.5	23.1	27.4	32.2
	3	18.6	16.5	22.5	21.8	13.8	10.9	16.5	23.6	27.8	32.1
	4	17.0	17.0	24.3	22.2	9.9	11.5	0.0	21.2	50.3	33.2
月	5	19.4	17.6	25.3	22.9	13.8	12.1	0.0	19.1	41.0	34.4
	6	18.7	18.4	24.5	23.7	12.4	12.9	0.0	23.3	50.5	41.3
合計,平均		18.2	16.9	23.9	22.2	12.2	11.3	5.8	21.9	40.3	34.4
	1	17.7	19.2	24.4	24.5	10.9	13.9	19.5	18.0	51.1	33.6
6	2	19.8	20.0	24.0	25.3	14.2	14.8	53.5	16.6	33.9	32.1
	3	18.0	20.6	23.9	25.8	11.8	15.8	6.5	21.0	55.4	30.0
	4	20.5	21.3	26.6	26.0	14.6	17.0	3.5	34.4	49.6	26.0
月	5	21.4	21.8	26.5	26.2	16.3	18.0	8.0	51.3	28.3	21.3
	6	23.3	22.4	28.4	26.5	19.7	18.9	32.5	60.2	17.2	19.7
合計,平均		20.1	20.9	25.6	25.7	14.6	16.4	20.6	33.6	39.3	27.1

＊：準正常値(品質に軽微な問題があるか、または統計値を求める対象となる資料の一部が許容する範囲内で欠けている)を含む値。

月	半旬	平均気温		最高気温		最低気温		降水量		日照時数	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
7	1	25.8	23.2	28.9	27.1	22.7	19.7	37.0	55.7	16.7	21.5
	2	26.3	24.0	30.2	27.9	22.9	20.5	19.5	51.1	21.1	22.9
	3	26.8	24.6	30.9	28.7	22.5	21.1	14.5	51.4	43.7	24.3
	4	27.6	25.2	31.0	29.4	25.1	21.6	11.5	45.0	37.1	28.9
月	5	27.9	25.8	32.1	30.2	24.4	22.0	29.0	31.1	25.2	34.2
	6	27.2	26.3	31.9	30.9	23.7	22.3	0.5	22.6	48.3	43.9
合計,平均		26.9	24.9	30.8	29.0	23.6	21.2	18.7	42.8	32.0	29.3
8	1	28.3	26.6	34.2	31.4	23.2	22.4	0.0	15.8	49.5	36.9
	2	27.1	26.6	31.6	31.6	23.9	22.4	65.5	18.3	24.4	36.0
	3	24.8	26.5	28.9	31.4	21.8	22.5	37.0	20.6	11.5	34.2
	4	26.3	26.2	30.8	31.0	23.0	22.2	53.0	21.0	38.7	33.2
月	5	28.6	25.8	32.3	30.6	25.2	21.7	17.5	20.9	40.1	32.5
	6	24.9	25.2	30.4	30.2	20.0	21.0	1.5	27.3	52.8	37.3
合計,平均		26.7	26.2	31.4	31.0	22.9	22.0	29.1	20.7	36.2	35.0
9	1	21.8	24.4	27.3	29.3	17.2	20.3	1.5	27.6	22.9	28.5
	2	22.4	23.4	27.3	28.2	18.5	19.4	50.0	32.0	23.2	26.2
	3	22.1	22.5	26.1	27.3	18.1	18.4	26.5	32.6	29.7	25.4
	4	21.0	21.6	24.1	26.5	16.8	17.3	84.5	31.6	15.4	25.4
月	5	20.3	20.5	26.7	25.5	14.9	16.2	0.0	30.4	36.1	24.7
	6	18.8	19.5	24.1	24.5	13.9	15.1	32.0	26.6	33.7	24.0
合計,平均		21.1	22.0	25.9	26.9	16.6	17.8	32.4	30.1	26.8	25.7
10	1	17.7	18.6	22.0	23.7	13.2	14.0	72.5	21.3	16.1	24.3
	2	20.0	17.8	24.4	23.1	16.3	13.0	45.5	18.9	34.5	25.4
	3	18.1	16.9	21.5	22.4	15.1	11.8	47.5	18.8	16.2	26.6
	4	15.8	15.8	19.3	21.4	13.1	10.6	15.0	18.6	10.5	26.9
月	5	14.7	14.8	18.3	20.4	10.9	9.7	80.0	17.5	8.6	25.4
	6	13.7	14.0	19.0	19.5	8.3	8.9	46.5	21.5	31.0	28.4
合計,平均		16.7	16.3	20.8	21.8	12.8	11.3	51.2	19.4	19.5	26.2
11	1	12.9	13.4	19.0	18.8	6.7	8.3	14.0	18.9	33.9	22.7
	2	13.6	12.8	20.1	17.9	6.1	7.9	15.0	19.8	29.8	21.0
	3	12.0	11.9	17.1	16.7	6.8	7.2	1.5	20.4	23.9	18.0
	4	8.2	10.9	11.2	15.5	4.5	6.1	20.5	19.1	11.1	16.6
月	5	8.3	10.0	11.6	14.7	4.6	5.2	7.0	18.8	14.5	15.7
	6	11.0	9.3	15.3	13.8	6.9	4.8	18.5	21.5	17.7	14.3
合計,平均		11.0	11.4	15.7	16.2	5.9	6.6	12.8	19.8	21.8	18.1
12	1	6.3	8.6	10.5	12.9	1.9	4.3	10.0	23.8	7.6	13.2
	2	5.7	8.0	8.8	12.1	2.4	3.8	57.0	22.9	2.5	12.1
	3	4.0	7.4	8.0	11.2	-0.1	3.4	9.5	20.5	10.9	11.2
	4	5.0	6.9	7.7	10.6	1.9	3.0	3.0	18.6	3.7	11.0
月	5	7.8	6.5	11.6	10.3	3.2	2.6	10.5	17.8	12.7	11.5
	6	5.8	6.0	8.4	9.8	2.4	2.1	9.5	21.5	5.2	13.1
合計,平均		5.8	7.2	9.2	11.2	2.0	3.2	16.6	20.9	7.1	12.0

西暦年の1位が1の年から数えて、連続する30年間について算出した累年平均値を平年値という。これをその統計期間に引き続く10年間使用し、10年ごとに更新する。したがって2011～2020年の間は、1981～2010年(昭和46～平成12年)の資料から算出された平年値を使用する。

平成２９年度　農作物有害動植物発生予察事業年報
２０２０年　3月　３１日　発行
編集･発行　島 根 県 農 業 技 術 セ ン タ ー
(資源環境研究部　病虫科)
島 根 県 病 害 虫 防 除 所
〒693-0035　島根県出雲市芦渡町２４４０番地
電　　話　（０８５３）２２－６７７２
Ｆ Ａ Ｘ　（０８５３）２４－３３４２